

福島県
— 震災を踏まえた子育て環境に関する調査研究 —
報告書

Ⅲ. 子ども（小学生・中学生・高校生）アンケート調査

Ⅲ. 子どもアンケート調査

3-1 調査概要

子どもたち自身の子どもを取り巻く環境の現状に対する認識や要望を把握することを目的として、アンケート調査を実施した。小学生と中学生については、相双地区といわき市を除く県内46市町村の小中学校各1校を選定し、高校生については県内全高校を対象として、標本数を按分して各学校から配布し回収していただいた。

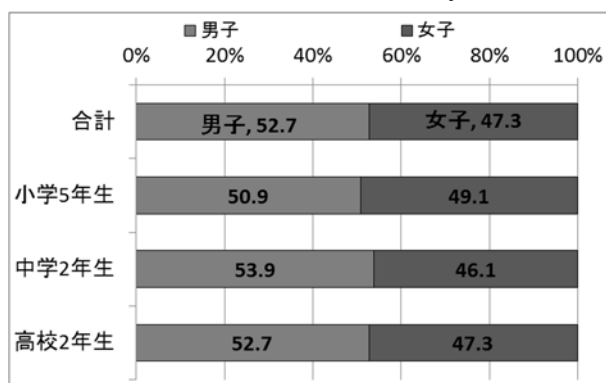
- 1 調査対象 ①小学5年生、②中学2年生、③高校2年生
- 2 標本数 ①1,380人 ②1,380人 ③500人 合計3,260人
- 3 抽出方法 相双地区といわき市を除く県内46市町村の小中学校各1校を選定し学校ごとに配布
- 4 調査時期 平成25年12月～平成26年1月に配付、1月に回収
- 5 調査方法 学校の担任より直接配布、回収
- 6 調査項目 遊び、生活時間、居場所、社会参画など p.1-5参照
- 7 回収数、回収率 回収数：1,372人、回収率：1,372/3,260=42.1%

合計	男子723人	女子649人	男女計1,372人
小学5年生	男子221人	女子213人	男女計434人
中学2年生	男子356人	女子305人	男女計661人
高校2年生	男子146人	女子131人	男女計277人

3-2 調査結果

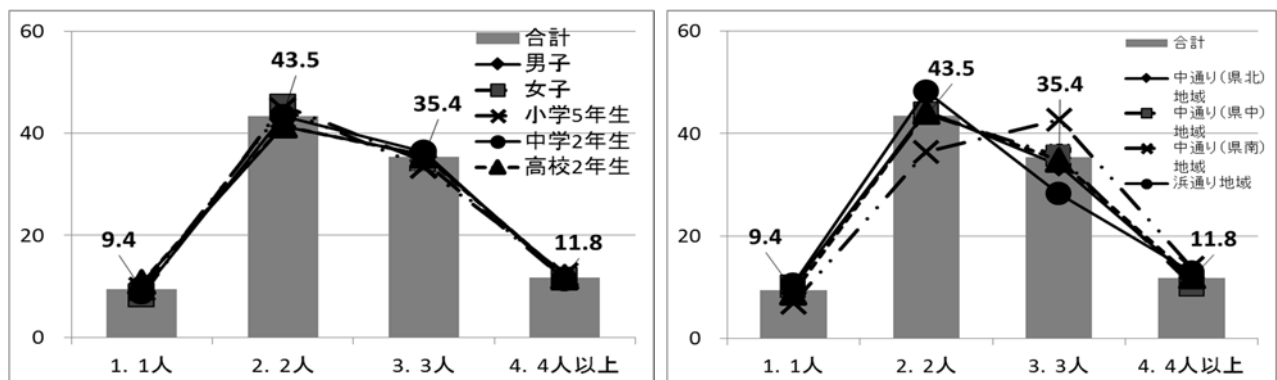
【あなた自身のことについて教えてください】

問1 あなたの性別をおしえてください。(どちらかに○を)



回答者は、およそ男女半数ずつだが、やや男子が多い。合計：男子52.7%、女子47.3%。

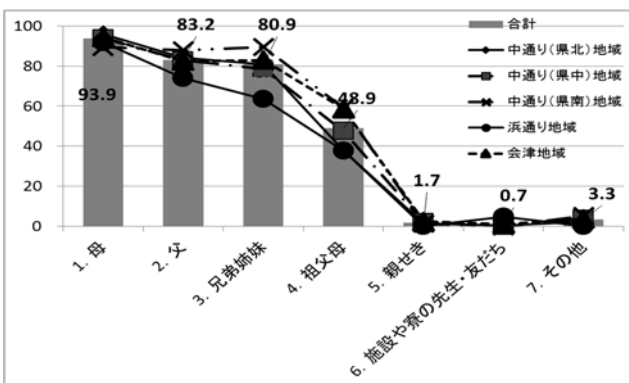
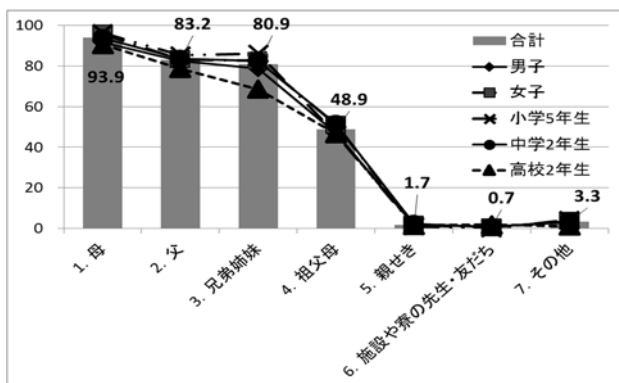
問2 あなたの兄弟姉妹は、あなたをふくめて何人ですか。(一つだけ○を)



兄弟姉妹は、2人が最も多く43.5%、3人が35.4%、4人が11.8%、一人っ子は9.4%。

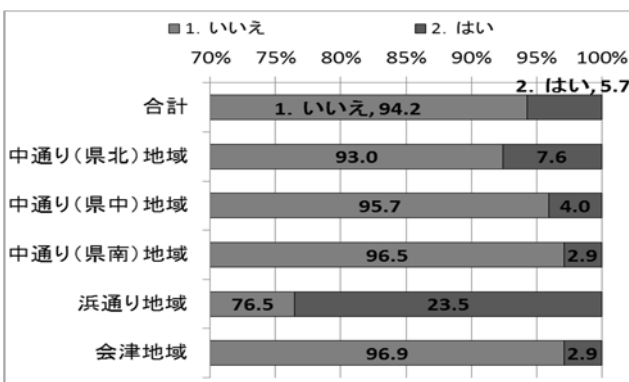
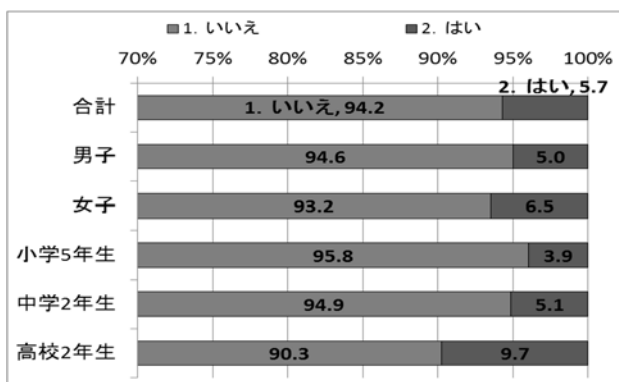
3人きょうだいが、中通り(県南)地域で多く、浜通り地域で少ない傾向。

問3 あなたが現在一緒に住んでいる人をおしえてください。(あてはまるものすべてに○を)



同居家族は、母 93.9 %、父 83.2%、兄弟姉妹 80.9%、祖父母 48.9%。
祖父母の同居割合は、会津地域で 58.6% と高い。

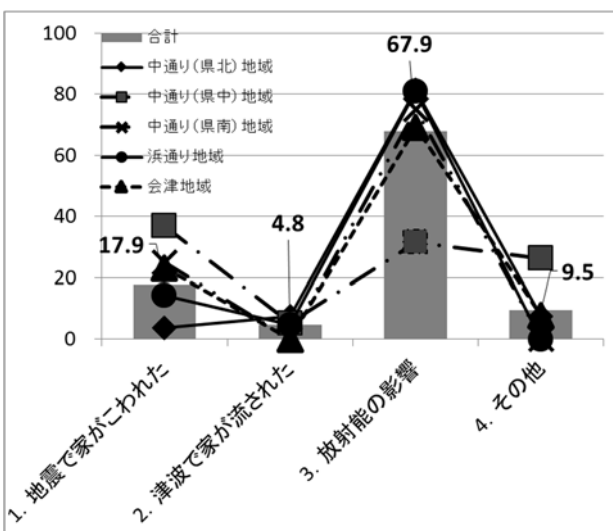
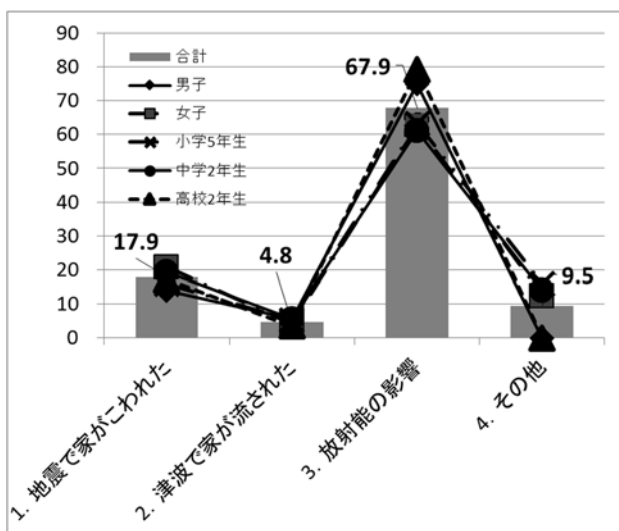
問4 あなたは 2011 年 3 月 11 日の震災およびそれにもなう津波、原子力発電所の事故の影響を受けて、住む所が変わりましたか。(どちらかに○を)



回答者の 5.7% (1369 人中の 78 人) が震災の影響で転居している。浜通りの回答者では、23.5% (高校生のみで、85 人中の 20 人) が転居している。

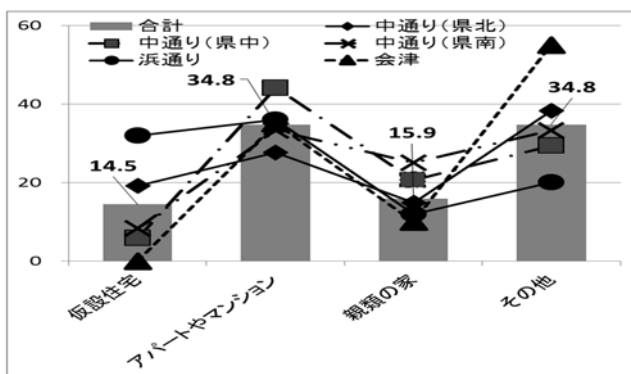
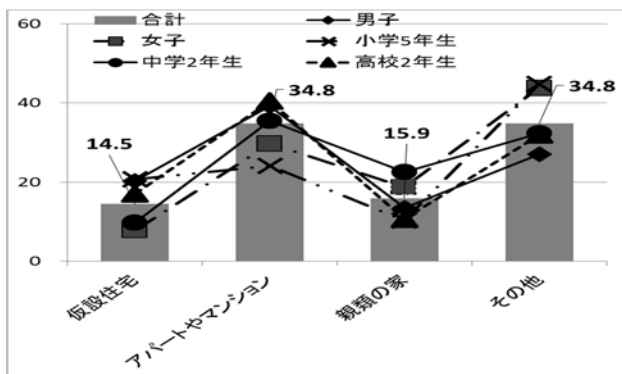
※注：浜通りの小中学生への調査ができなかったため、学年による変化は有意といえない。

1) 住むところが変わった方は、その理由に○をしてください (いくつでも○を)



転居の理由は、放射能の影響 67.9% が最も多く、地震で家がこわれた 17.9%、津波で家が流された 4.8%。

3) 今住んでいる所は次のどれにあたりますか



転居した回答者が住んでいるところは、アパートやマンション 34.8%、親類の家 15.9%、仮設住宅 14.5%、その他 34.8%。仮設住宅は、浜通り 32.0%で多く、アパートやマンションは、中通り（県中）44.1%が多い。

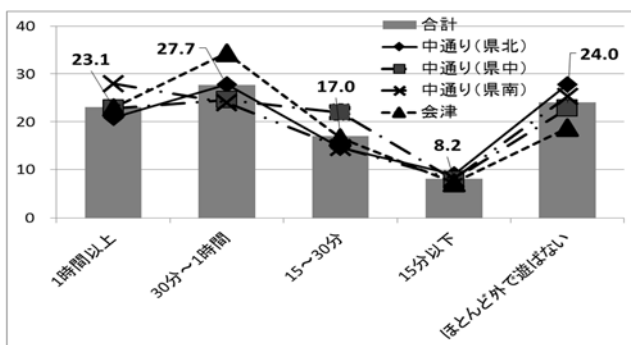
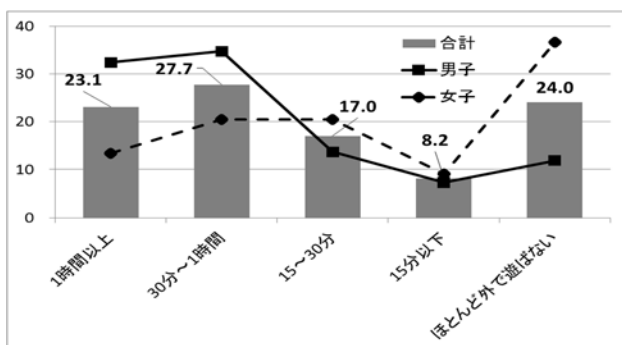
あなたのふだんの生活などについて教えてください。【中学2年生・高校2年生】

あなたのふだんの遊びについて教えてください。【小学5年生】

※以下の設問で、() なし「問○」は、中学2年生・高校2年生への設問番号で、() 付「(問○)」は、小学5年生への設問番号です。

※以下の(問5)～(問8)は、小学5年生のみの設問です。

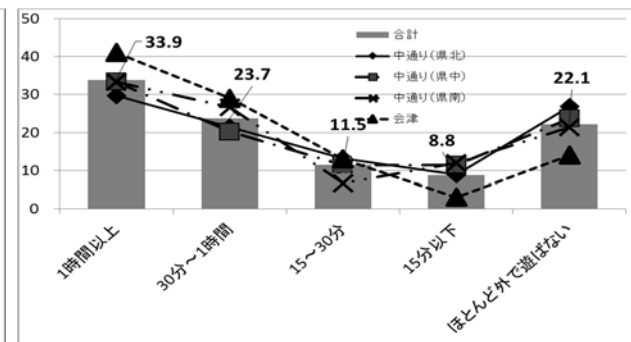
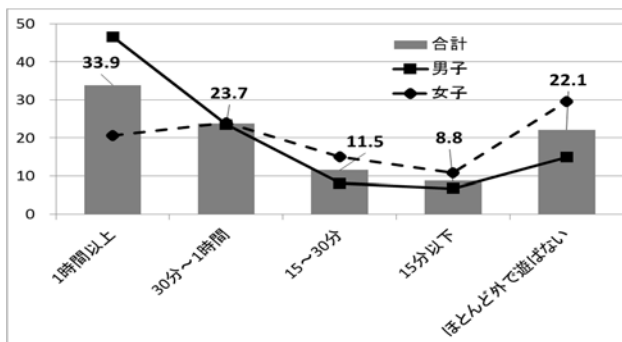
(問5) あなたは、平日の1日あたりどのくらいの時間外で遊んでいますか (一つだけ○を)
(小学5年生のみ)



【小学5年生の平日の外遊び時間は、一日「1時間以上」23.1%、「30分～1時間」27.7%、「15～30分」17.0%、15分以下8.2%。「ほとんど外で遊ばない」が24.0%と多い。】(問5) (小学5年生)

「ほとんど外で遊ばない」の割合は、男女差では、男子 11.9%より女子 36.7%が多く、地域差では、会津 18.8%が最も少なく、中通り（県中）22.8%、中通り（県南）25.3%、中通り（県北）27.8%の順に増加している。(※浜通りは、未調査。)

(問6) あなたは、休日の1日あたりどのくらいの時間 外で遊んでいますか。(一つだけ○を)
(小学5年生のみ)



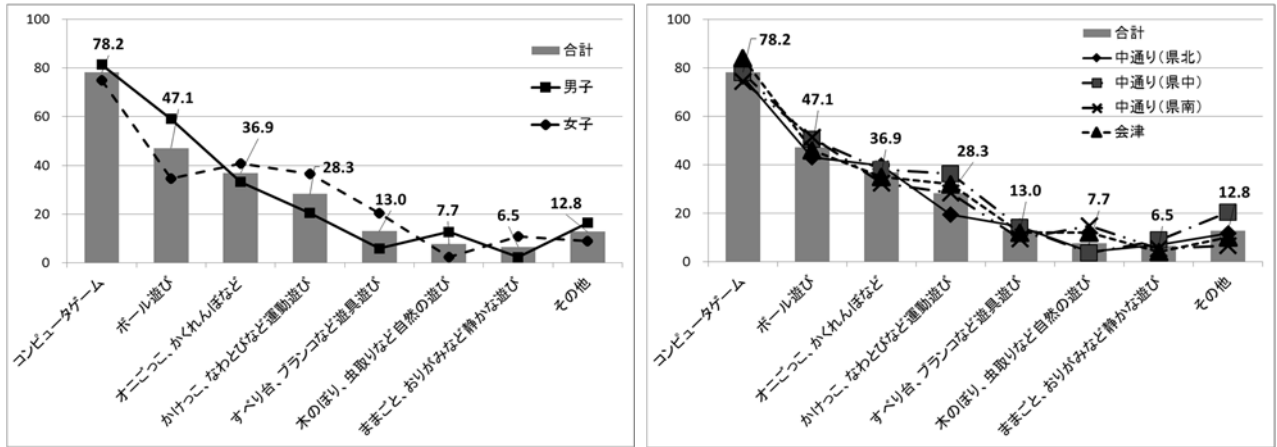
【小学5年生の休日の外遊び時間は、一日「1時間以上」33.9%、「30分～1時間」23.7%、「15～30分」11.5%、15分以下8.8%。「ほとんど外で遊ばない」が22.1%と多い】(問6) (小学5年生)

「ほとんど外で遊ばない」の割合は、男女差では、男子 14.9%より女子 29.6%が多く、地域差では、会津 14.0%が最も少なく、中通り（県南）21.3%、中通り（県中）23.7%、中通り（県北）26.9%の順に増加している。(※

浜通りは、未調査。)

平日と休日を比べてみると、「1時間以上」の割合が、平日 23.1%より休日 33.9%のほうが多く、「ほとんど外で遊ばない」の割合が、平日 24.0%より休日 22.1%のほうが少ないことから、休日のほうが外遊びが多いといえる。

(問7) あなたはふだんどのような遊びをしていますか？(いくつでも○を)
(小学5年生のみ)



【普段の遊びは、「コンピュータゲーム」78.2%、「ボール遊び」47.1%、「オニごっこ、かくれんぼなど」36.9%、「かけっこ、なわとびなど運動遊び」28.3%など。】(問7) (小学5年生)

普段の遊びでは、多い順に「コンピュータゲーム」78.2%、「ボール遊び」47.1%、「オニごっこ、かくれんぼなど」36.9%、「かけっこ、なわとびなど運動遊び」28.3%など。「すべり台、ブランコなど遊具遊び」13.0%、「木のぼり、虫取りなど自然の遊び」7.7%、「ままごと、おりがみなど静かな遊び」6.5%などの割合は、非常に低い。

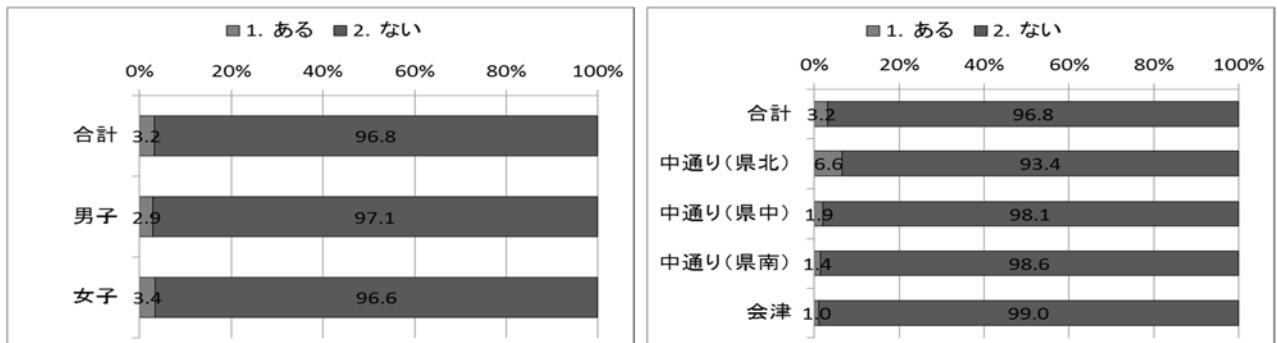
男女比較では「ボール遊び」「コンピュータゲーム」「木のぼり、虫取りなど自然の遊び」などは男子が多く、「オニごっこ、かくれんぼなど」「かけっこ、なわとびなど運動遊び」「すべり台、ブランコなど遊具遊び」「ままごと、おりがみなど静かな遊び」などは女子が多い。

順位	選択肢	合計%	男子%	女子%
1	コンピュータゲーム	78.2	81.4	74.9
2	ボール遊び	47.1	59.1	34.6
3	オニごっこ、かくれんぼなど	36.9	33.2	40.8
4	かけっこ、なわとびなど運動遊び	28.3	20.5	36.5
5	すべり台、ブランコなど遊具遊び	13.0	5.9	20.4
6	木のぼり、虫取りなど自然の遊び	7.7	12.7	2.4
7	ままごと、おりがみなど静かな遊び	6.5	2.3	10.9
-	その他	12.8	16.4	9.0

地域別にみると「コンピュータゲーム」が会津 84.0%で多い、「かけっこ、なわとびなど運動遊び」が中通り(県北) 19.4%で少ない、「木のぼり、虫取りなど自然の遊び」が中通り(県南) 14.9%、会津 12.0%で多い、などである。

(問8) 震災(地震、津波、原発事故など)をきっかけにできなくなった遊びがありますか？
(小学5年生のみ)

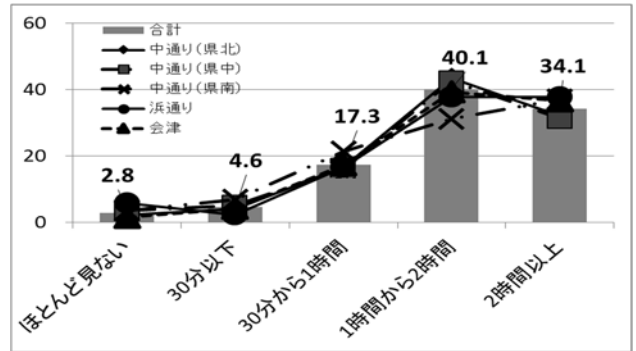
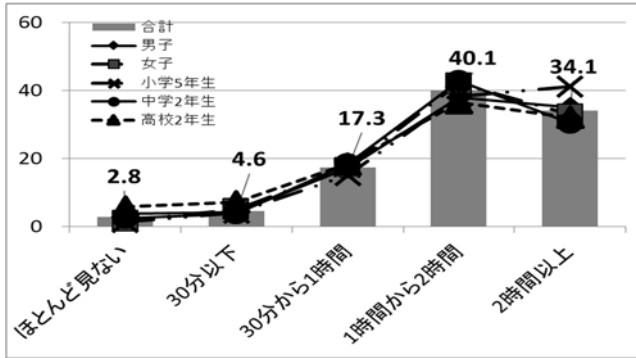
【外遊び、砂遊び、自然遊びなどが震災(地震、津波、原発事故など)をきっかけにできなくなった】(問8) (小学5年生)



震災(地震、津波、原発事故など)をきっかけにできなくなった遊びとしてあげられたもの:

外あそび、砂(砂場)遊び、公園でのおにごっこなど、ブランコや鉄棒、海でのあそび、魚釣り、野原や山で虫取り、自然遊び、たんけん、竹を使ったつら落とし

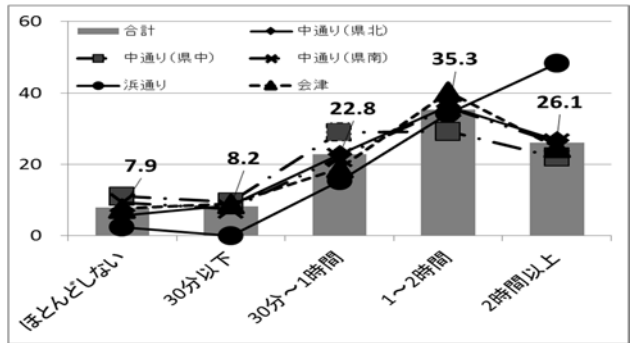
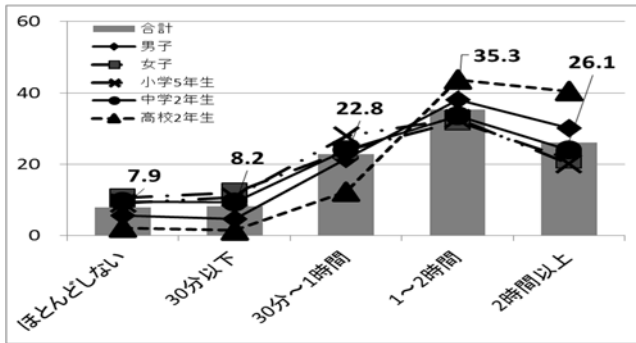
問5 (問9) あなたは毎日どのぐらいの時間 テレビやビデオ・DVD を見ますか。(一つだけ○を)



【テレビやビデオ・DVDの視聴時間は、2時間以上34.1%、1～2時間40.1%、30分～1時間17.3%、30分以下7.4%】問5 (問9)

テレビやビデオ・DVDの視聴時間で、最も多いのは1～2時間40.1%で、2時間以上34.1%を合わせると、74.2%が1時間以上見ている。30分～1時間17.3%、30分以下4.6%、ほとんど見ない2.8%。

問6 (問10) あなたは毎日どのぐらい電子機器(携帯電話、ゲーム器、パソコン等)を使っていますか。(一つだけ○を)



【一日の電子機器(携帯電話、ゲーム器、パソコン等)を使う時間は、「2時間以上」26.1%、「1～2時間」35.3%、「30分～1時間」22.8%、「30分以下」16.1%。】問6 (問10)

一日の電子機器(携帯電話、ゲーム器、パソコン等)を使う時間は、割合の多い順で、「1～2時間」35.3%、「2時間以上」26.1%、「30分～1時間」22.8%、「30分以下」8.2%。「ほとんどしない」は7.9%。

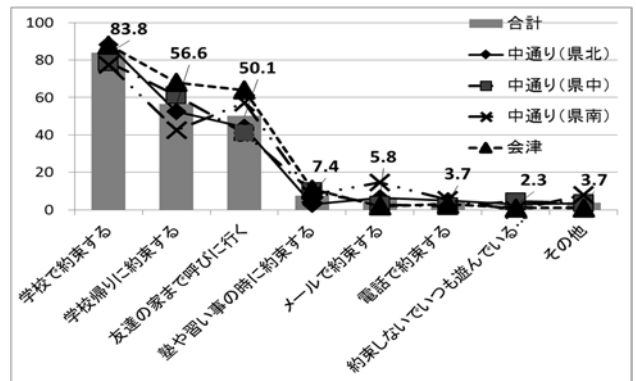
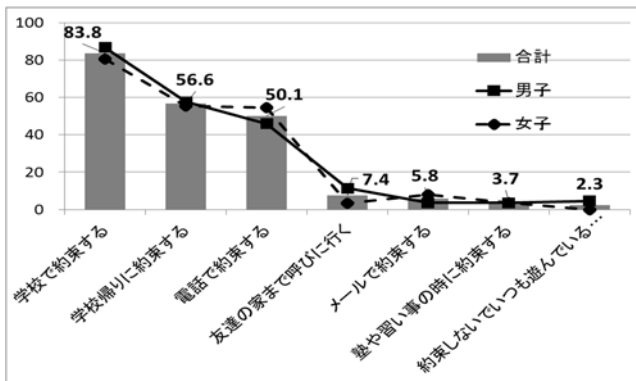
「2時間以上」の割合でみると、性別では、男子30.2%のほうが女子21.4%より多く、年齢別では、小学5年生20.2%、中学2年生23.9%、高校2年生40.4%と年齢とともに割合が増加している。

問7 あなたは友達とどのように連絡しあうことが多いですか。(いくつでも○を)

(問11) あなたは友達とどのように遊びの約束をしますか？(小学5年生)

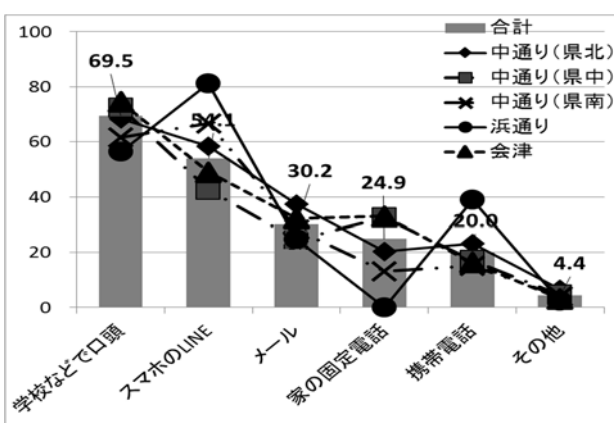
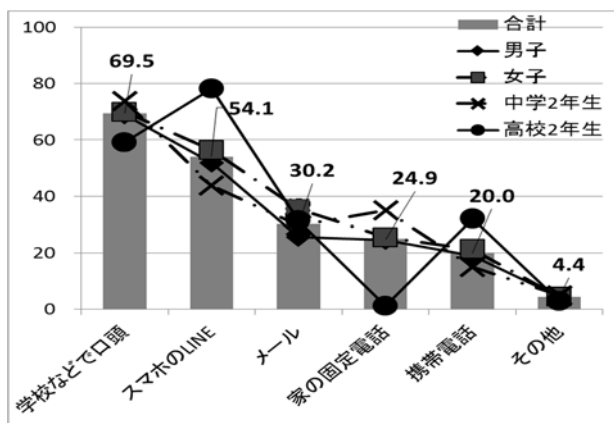
【友達との連絡手段は、小学生では「学校で」83.8%、「電話で」50.1%、「メール」1割以下、中高生では「学校で」69.5%、「スマホのLINE」54.1%、「メール」30.2%など】問7 (問11)

小学5年生



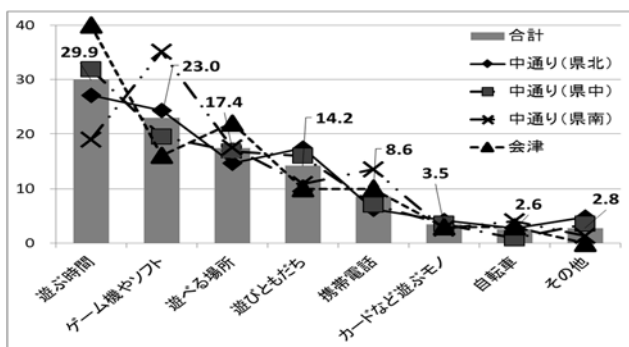
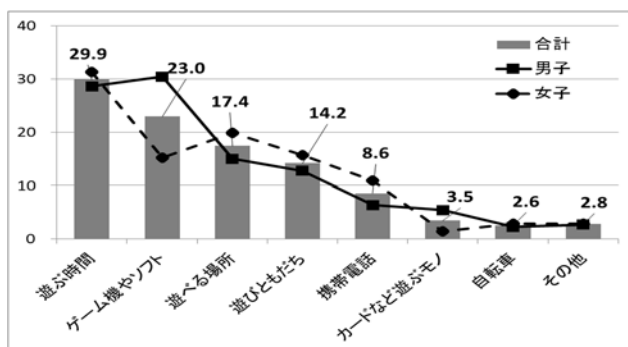
小学5年生の遊びの約束は、「学校で約束する」83.8%、「学校帰りに約束する」56.6%、「電話で約束する」50.1%。その他のメールなどは1割以下。

中学2年生、高校2年生



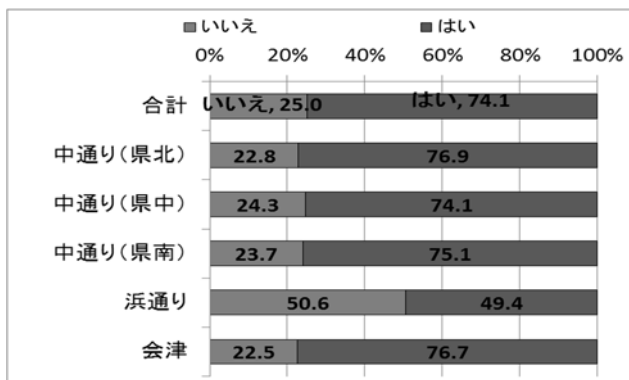
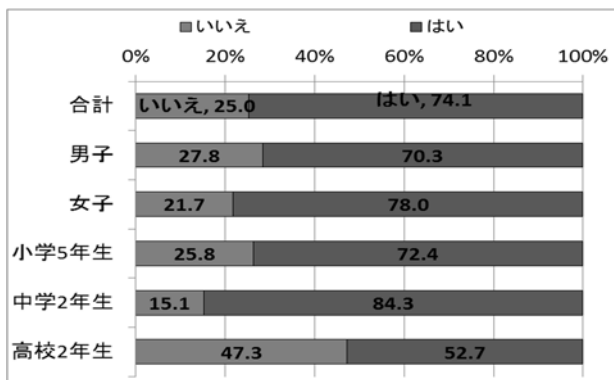
中学高校生の友人との連絡手段は、「学校などで口頭で」69.5%、「スマホのLINE」54.1%、「メール」30.2%、「家の固定電話」24.9%、「携帯電話」20.0%。個人同士で話す電話より、ラインのようなスマートホンなどのコミュニケーションアプリでの複数の友人とのやり取りが多くなっている。

(問12) あなたが遊ぶのにいちばんほしいと思っているものを一つだけ○をつけてください
(小学5年生のみ)



【「遊ぶのにいちばんほしいもの」の順位は、遊ぶ時間29.9%、遊びともだち23.0%、ゲーム機やソフト17.4%、遊べる場所14.2%、携帯電話8.6%】(問12) (小学5年生)

問8 (問13) あなたは、部活や塾に行ったり、習いごとをしていますか。(どちらかに○を)



【部活、塾、習いごとをしている人は74.1%。学年別では、中学2年生84.3%が最も多く、小学5年生72.4%、高校2年生52.7%の順】問8 (問13)

男子70.3%より女子78.0%のほうが多く、学年別では、中学2年生84.3%が最も多く、小学5年生72.4%、高校2年生52.7%の順。

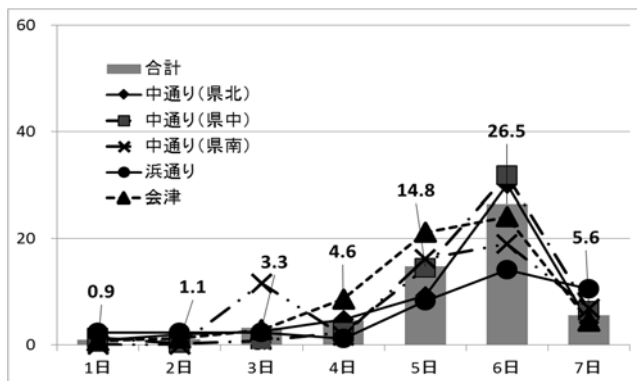
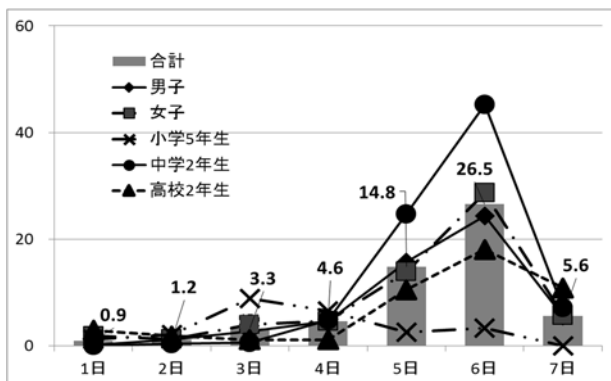
※注：浜通りで49.4%と低いのは、回答者が高校生のみのため、有意差といえない。

問8-2 (問13-2) 「2.している」に○をつけた人に聞きます。

何をしていますか。それは、週に何日、合計どれくらいの時間していますか。

【学校の部活 3.0日/週、学習塾 0.6日/週、習い事 0.8日/週。3つの合計は 4.4日/週 (小学5年生 2.7日/週、中学2年生 6.0日/週、高校2年生 2.8日/週)】問8 (問13)

1. 学校の部活 週に () 日、 週の合計 () 時間

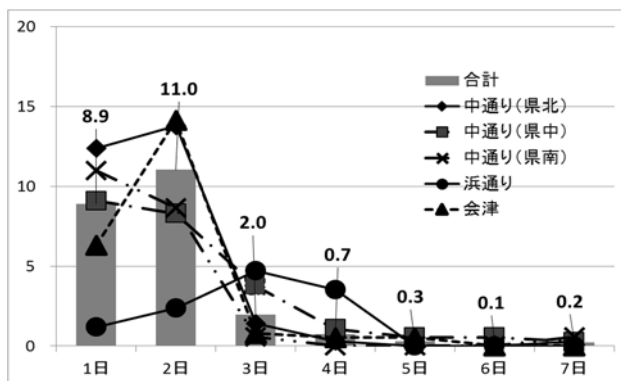
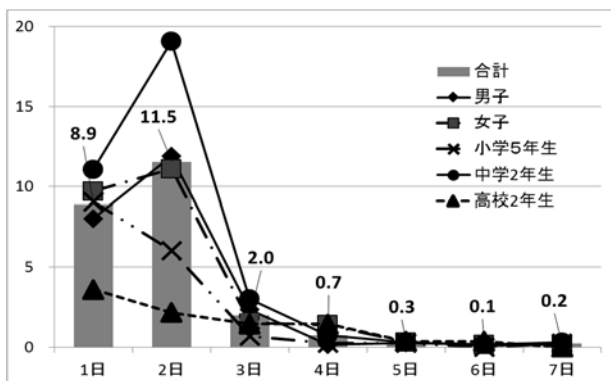


学校の部活日数では、週のうち6日 26.5%が最も多く、次が5日 14.8%、7日 (毎日) 5.6%している人もいる。

※注：浜通りで割合が低いのは、回答者が高校生のみのため、有意といえない。

平均日数/週にしてみると、合計では、3.0日/週。女子のほうが少し多くて女子 3.2日/週、男子 2.9日/週。学年別では、中学2年生 4.7日/週、高校2年生 2.5日/週、小学5年生 0.9日/週の順。

2. 学習塾 週に () 日、 週の合計 () 時間

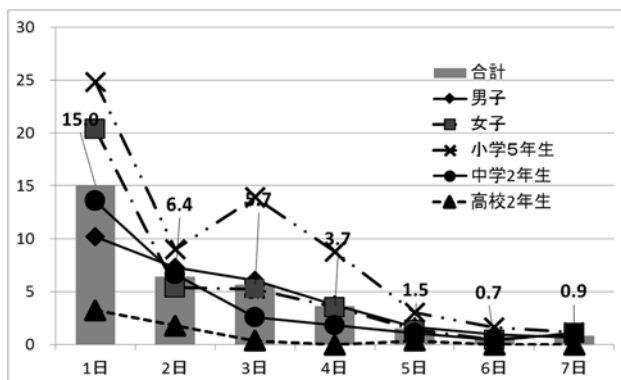
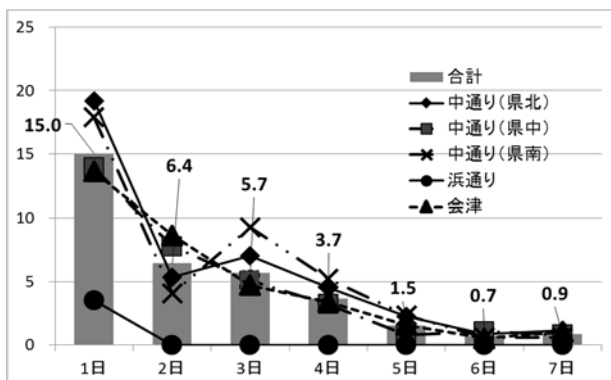


学習塾は週のうち2日 11.5%が最も多く、次が1日 8.9%。

※注：浜通りで割合が低いのは、回答者が高校生のみのため、有意といえない。

平均日数/週にしてみると、合計では 0.6日/週。男女の差は少ない (男子 0.4日/週、女子 0.5日/週)。学年別では、中学2年生 0.7日/週、小学5年生 0.3日/週、高校2年生 0.2日/週の順。

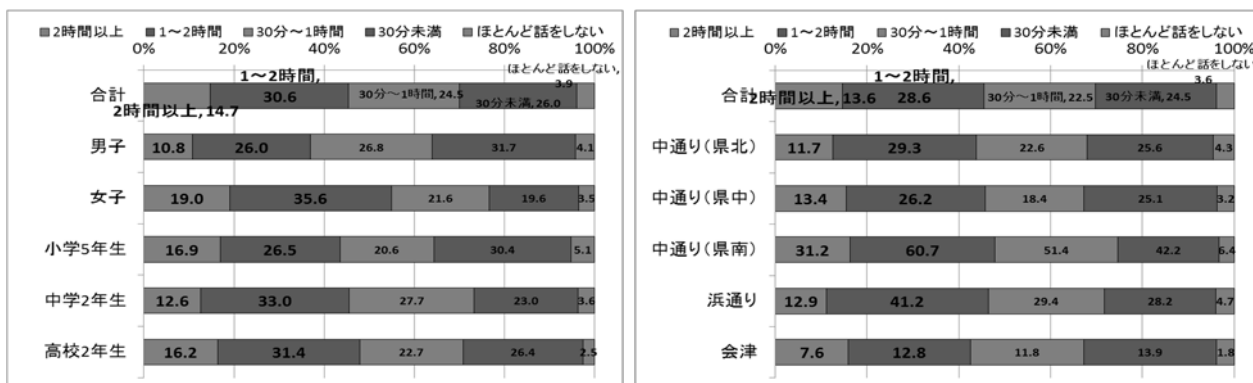
3. 習いごと 週に () 日、 週の合計 () 時間



習い事は最も多いのが1日 15.0%で、2日 6.4%、3日 5.7%、4日 3.7%と減少する。

平均日数/週にしてみると、合計では 0.8日/週。男女の差はない。学年別では、小学5年生 1.5日/週、中学2年生 0.6日/週、高校2年生 0.1日/週の順。

問9 (問14) あなたは、一日の中で、親(保護者)とどれくらい話をしますか。(一つだけ○を)



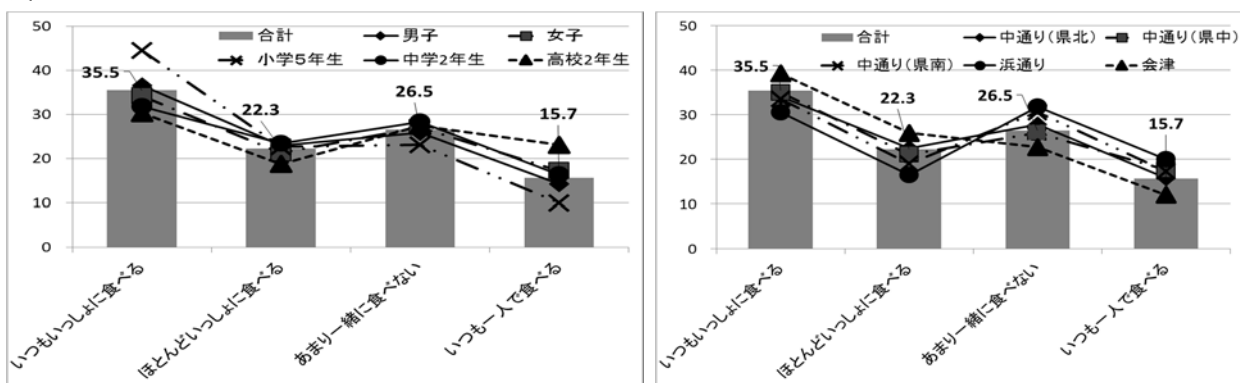
【一日の親子の会話は、2時間以上14.7%、1~2時間30.6%、30分~1時間24.5%、30分未満29.9%、】問9 (問14)

一日の中で、親(保護者)と話す時間は、1~2時間30.6%が最も多く、30分未満26.0%、30分~1時間24.5%、2時間以上14.7%、ほとんど話をしない3.9%の順。

問10 (問15) あなたは、親(保護者)といっしょに食事を食べますか。

【親(保護者)といっしょに食べない(「あまり一緒に食べない」+「いつも一人で食べる」)子どもは、朝食42.2%、夕食12.7%】問10 (問15)

朝食 (一つだけ○を)

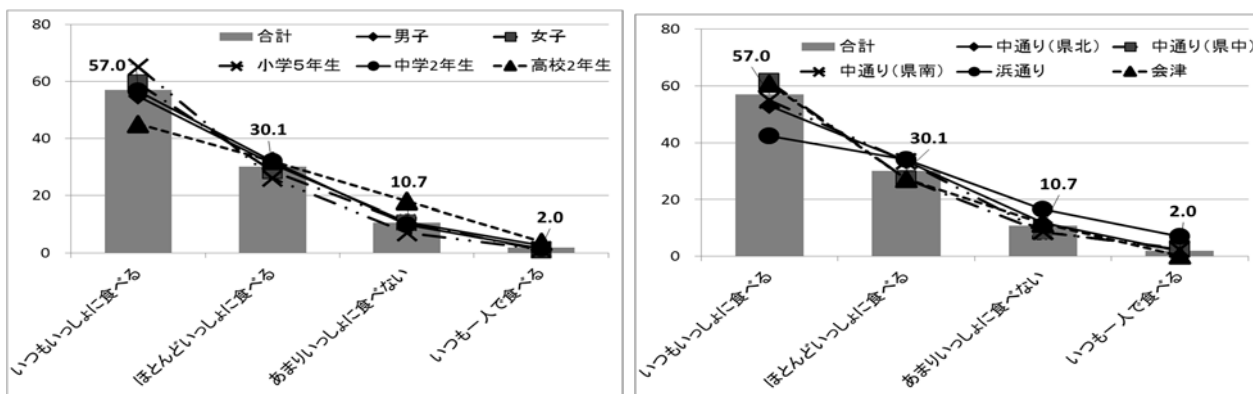


朝食を親(保護者)といっしょに食べている子の割合は、「いつもいっしょに食べる」35.5%、「ほとんどいっしょに食べる」22.3%、合計で57.8%。「あまり一緒に食べない」26.5%、「いつも一人で食べる」15.7%、合計は42.2%

「いつもいっしょに食べる」は、小学5年生44.5%、中学2年生31.8%、高校2年生30.3%と年齢とともに減少し、「いつも一人で食べる」は、小学5年生10.0%、中学2年生16.3%、高校2年生23.1%と年齢とともに増加する。

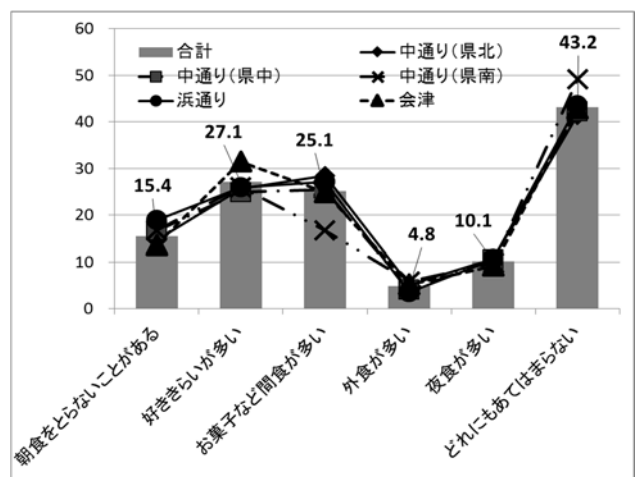
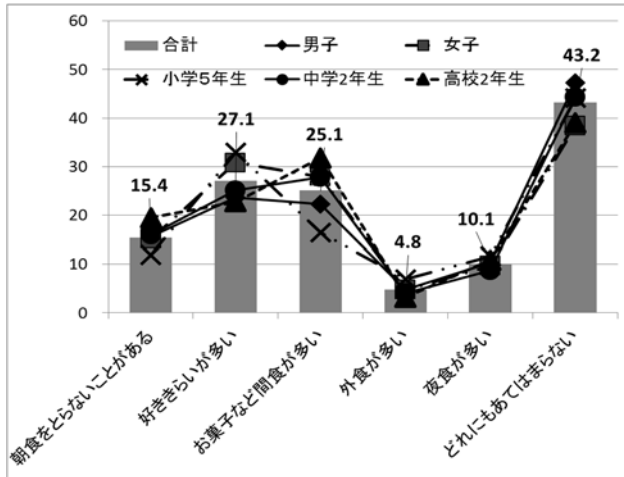
※注：浜通りで「いつも一人で食べる」割合が高いのは、回答者が高校生のみのため、有意差といえない。

夕食 (一つだけ○を)



夕食を親（保護者）といっしょに食べている子の割合は、「いつもいっしょに食べる」57.0%、「ほとんどいっしょに食べる」30.1%、合計87.1%。「あまり一緒に食べない」10.7%、「いつも一人で食べる」2.0%、合計12.7%。
 「いつもいっしょに食べる」は、小学5年生65.2%、中学2年生56.7%、高校2年生45.1%と年齢とともに減少し、「いつも一人で食べる」は、小学5年生1.4%、中学2年生1.5%、高校2年生4.0%と年齢とともに増加する。
 ※注：浜通りで「いつも一人で食べる」割合が高いのは、回答者が高校生のみのため、有意差といえない。

問11（問16） あなたの食事について下記にあてはまるものがありますか。（いくつでも○を）



【食生活の問題点では「好ききらいが多い」27.1%、「お菓子など間食が多い」25.1%、「朝食をとらないことがある」15.4%、「どれもあてはまらない（問題ない）」は43.2%】問11（問16）

「朝食をとらないことがある」は合計で15.4%、男女差はなく、小学5年生11.8%、中学2年生16.0%、高校2年生19.5%と年齢を追って増加する。会津13.6%は他の地域より少ない。

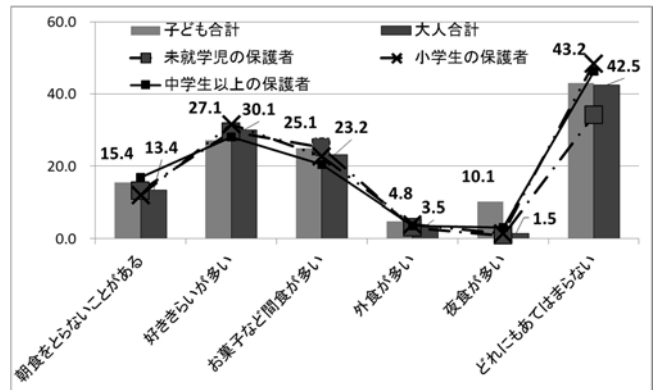
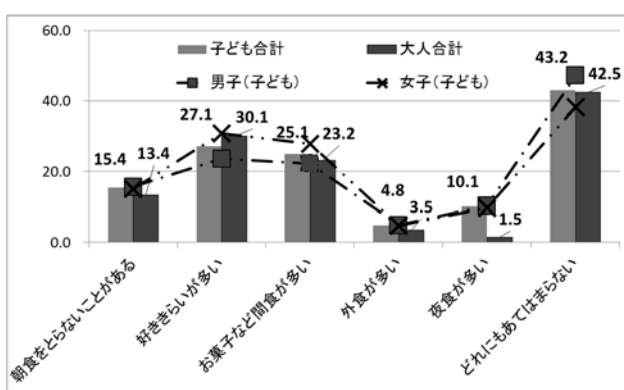
「好ききらいが多い」は合計で27.1%、男子23.7%より女子30.8%が多く、小学5年生32.9%、中学2年生25.1%、高校2年生22.7%と年齢を追って減少する。会津31.4%は他の地域より多い。

「お菓子など間食が多い」は合計で25.1%、男子22.3%より女子27.9%が多く、小学5年生16.5%、中学2年生27.8%、高校2年生31.8%と年齢を追って増加する。中通り（県南）16.8%は他の地域より少ない。

「外食が多い」は合計で4.8%、男女差はなく、小学5年生7.0%、中学2年生4.1%、高校2年生3.2%と年齢を追って減少する。

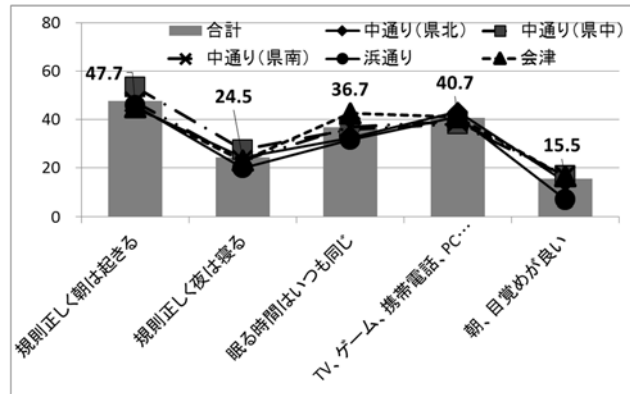
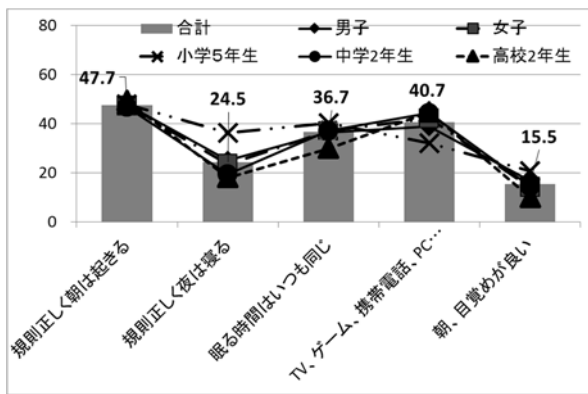
「夜食が多い」は合計で10.1%、男子が10.4%より女子9.7%より多く、小学5年生11.6%と高校2年生10.8%が、中学2年生8.8%より多い。

※注：浜通りは、回答者が高校生のみのため、有意差といえない。



【食生活の問題点では、子どもと大人（保護者）の回答を比較してみても大きな食い違いはなく、「好ききらいが多い」3割程度、「お菓子など間食が多い」2.5割程度、「朝食をとらないことがある」1.5割程度、「どれもあてはまらない（問題ない）」は4.5割程度】問11（問16）（大人問25）】

問12 (問17) あなたの睡眠についてお聞きます。(いくつでも○を)



【「規則正しく朝は起きています」は5割、「規則正しく夜は寝ている」は2.5割、「TV、ゲーム、携帯電話、パソコンなどのために寝るのが遅くなることが多い」は4割】問12 (問17)

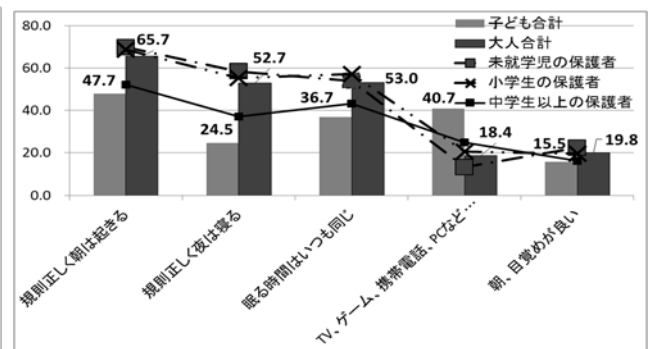
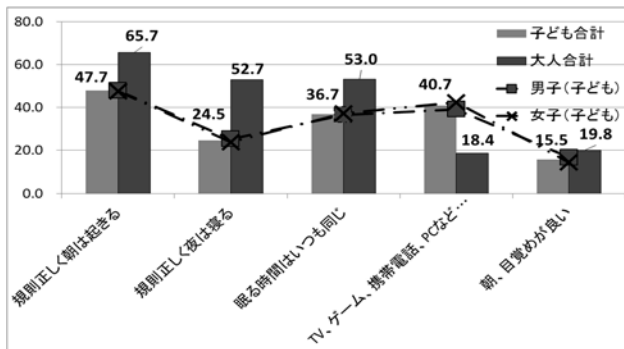
「規則正しく朝は起きています」は合計で47.7%、男女差、年齢差はない。中通り(県中)53.5%は他より多い。「規則正しく夜は寝ている」は合計で24.5%、男女差はなく、小学5年生36.4%、中学2年生19.4%、高校2年生18.1%と年齢を追って減少する。中通り(県中)27.5%は他の地域より多い。

「眠る時間はいつも同じ」は合計で36.7%、男女差はなく、小学5年生40.4%、中学2年生37.2%、高校2年生30.0%と年齢を追って減少する。会津42.7%は他の地域より多い。

「TV、ゲーム、携帯電話、パソコンなどのために寝るのが遅くなることが多い」は合計で40.7%、男子39.0%より女子42.2%が多く、小学5年生32.3%、中学2年生44.5%、高校2年生44.8%と年齢を追って増加する。中通り(県北)43.4%は他の地域より多い。

「朝、目覚めが良い」は合計で15.5%、男子16.6%のほうが女子14.2%よりやや多く、小学5年生20.6%、中学2年生14.4%、高校2年生10.1%と年齢を追って減少する。

※注：浜通りは、回答者が高校生のみのため、有意差といえない。

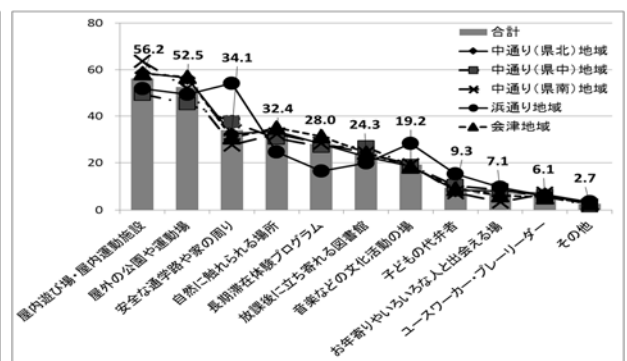
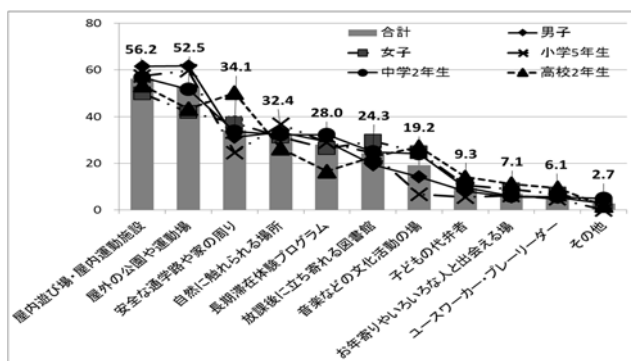


【子どもの回答では「規則正しく朝は起きています」5割、「規則正しく夜は寝ている」2.5割だが、大人では2割程度多く、「TV、ゲーム、携帯電話、パソコンなどのために寝るのが遅くなることが多い」4割は2割程度少なく、親のほうが子どもが思うより規則正しく睡眠をとっていると考えている】問12 (問17) (大人問27)

問13 中高校生の地域の生活にとってどのようなことが重要だと思いますか。

(問20) 遊びの場所や機会をつくるためにどのようなことが大切だと思いますか。

あなたが特に重要だと思うものを、3つまで選んで○をつけてください。



順位	選択肢	合計	男子	女子	小学 5年生	中学 2年生	高校 2年生
1	屋内遊び場・屋内運動施設	56.2	61.5	49.9	57.3	56.7	53.4
2	屋外の公園や運動場	52.5	61.7	41.9	59.6	51.7	43.3
3	安全な通学路や家の周り	34.1	31.1	37.3	24.6	33.6	50.2
4	自然に触れられる場所	32.4	33.3	31.3	36.7	32.2	26.4
5	長期滞在体験プログラム	28.0	29.3	26.3	29.0	32.2	16.6
6	放課後に立ち寄れる図書館	24.3	19.4	29.6	24.4	24.8	22.7
7	音楽などの文化活動の場	19.2	14.2	24.7	6.7	24.1	27.1
8	子どもの代弁者	9.3	8.0	10.6	5.6	9.7	14.1
9	お年寄りやいろいろな人と出会える場	7.1	5.5	8.8	6.3	5.9	11.2
10	ユースワーカー・プレーリーダー	6.1	5.4	6.9	4.9	5.6	9.4
-	その他	2.7	2.8	2.6	0.0	4.8	1.8

順位	選択肢	合計	男子	女子	小学 5年生	中学 2年生	高校 2年生
1	お祭りなど地域の活動に子どもも参加	65.2	61.5	68.9	62.9	69.7	57.8
2	大人が気軽に近所の子どもの声をかける	41.7	39.0	44.5	51.5	38.9	33.2
3	ほめたり、しかったり、教えてくれる人がいる	30.9	33.6	27.7	43.6	29.0	15.5
4	子どもと大人のかかわりがほとんどない	13.7	13.6	13.7	2.3	14.7	28.9
5	家を留守にするときに声をかける人がいる	12.9	11.6	14.0	16.5	11.3	10.8
6	子どもがまちについて意見を言う	5.8	7.5	4.0	12.3	2.9	2.9
7	その他	1.8	1.2	2.5	0.0	2.9	2.2

【地域で重要なものは、①「屋内遊び場・屋内運動施設」56.2%、②「屋外の公園や運動場」52.5%、③「安全な通学路や家の周り」34.1%、④「自然に触れられる場所」32.4%、⑤「長期滞在体験プログラム」28.0%、⑥「放課後に立ち寄れる図書館」24.3%など】問1 3(問2 0)

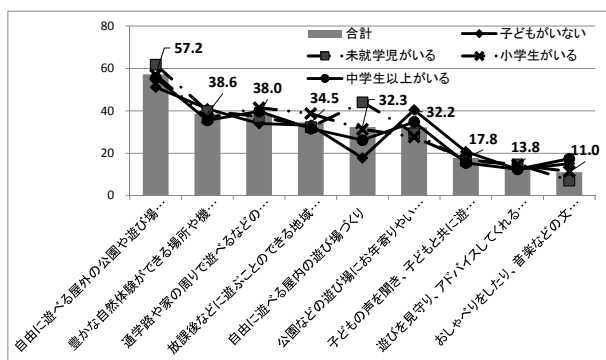
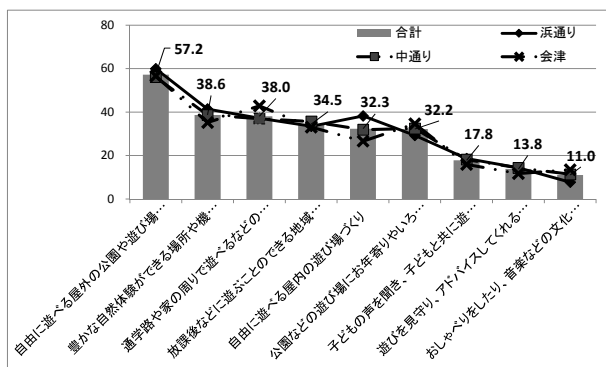
割合の高い順に、①「屋内遊び場・屋内運動施設」56.2%、②「屋外の公園や運動場」52.5%、③「安全な通学路や家の周り」34.1%、④「自然に触れられる場所」32.4%、⑤「長期滞在体験プログラム」28.0%、⑥「放課後に立ち寄れる図書館」24.3%、⑦「音楽などの文化活動の場」19.2%、⑧「子どもの代弁者」9.3%、⑨「お年寄りやいろいろな人と出会える場」7.1%、⑩「ユースワーカー・プレーリーダー」6.1%。

①「屋内遊び場・屋内運動施設」、②「屋外の公園や運動場」、③「安全な通学路や家の周り」、④「自然に触れられる場所」は男子の割合が多く、年齢とともに割合が減少する。

⑦「音楽などの文化活動の場」、⑧「子どもの代弁者」、⑨「お年寄りやいろいろな人と出会える場」、⑩「ユースワーカー・プレーリーダー」は女子の割合が多く、年齢とともに割合が減少する。

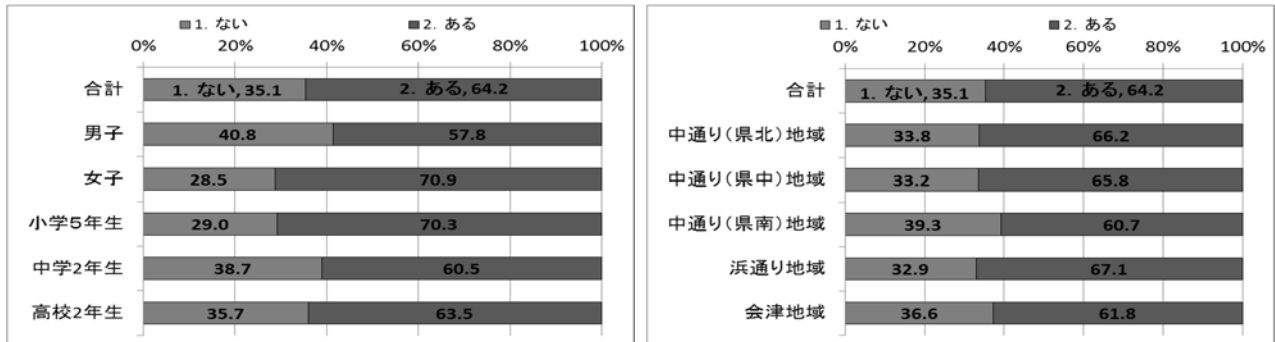
【子どもと大人の回答を比較すると「屋内遊び場」が子ども(56.2%)では第1位だが、大人(32.3%)では第5位と順位が低い。「屋外の公園や運動場(遊び場)」は大人(57.2%)では第1位だが、子どもでは第2位(52.5%)で、大人のほうが屋外遊びを重要と考えている】問1 3(問2 0)(大人問1 7)

下図は県民(大人)アンケートの結果(問1 7)(※選択肢は若干異なる)



順位	選択肢	%
1	自由に遊べる屋外の公園や遊び場づくり	57.2
2	豊かな自然体験ができる場所や機会づくり	38.6
3	通学路や家の周りで遊べるなどの安全な近隣環境づくり	38.0
4	放課後などに遊ぶことのできる地域の児童施設づくり	34.5
5	自由に遊べる屋内の遊び場づくり	32.3
6	公園などの遊び場にお年寄りやいろいろな人が集まるための施設・設備	32.2
7	子どもの声を聞き、子どもと共に遊び環境をつくるしくみづくり	17.8
8	遊びを見守り、アドバイスしてくれる遊びの指導員(プレイリーダーなど)の配置	13.8
9	おしゃべりをしたり、音楽などの文化活動ができる中高校生の居場所づくり	11.0

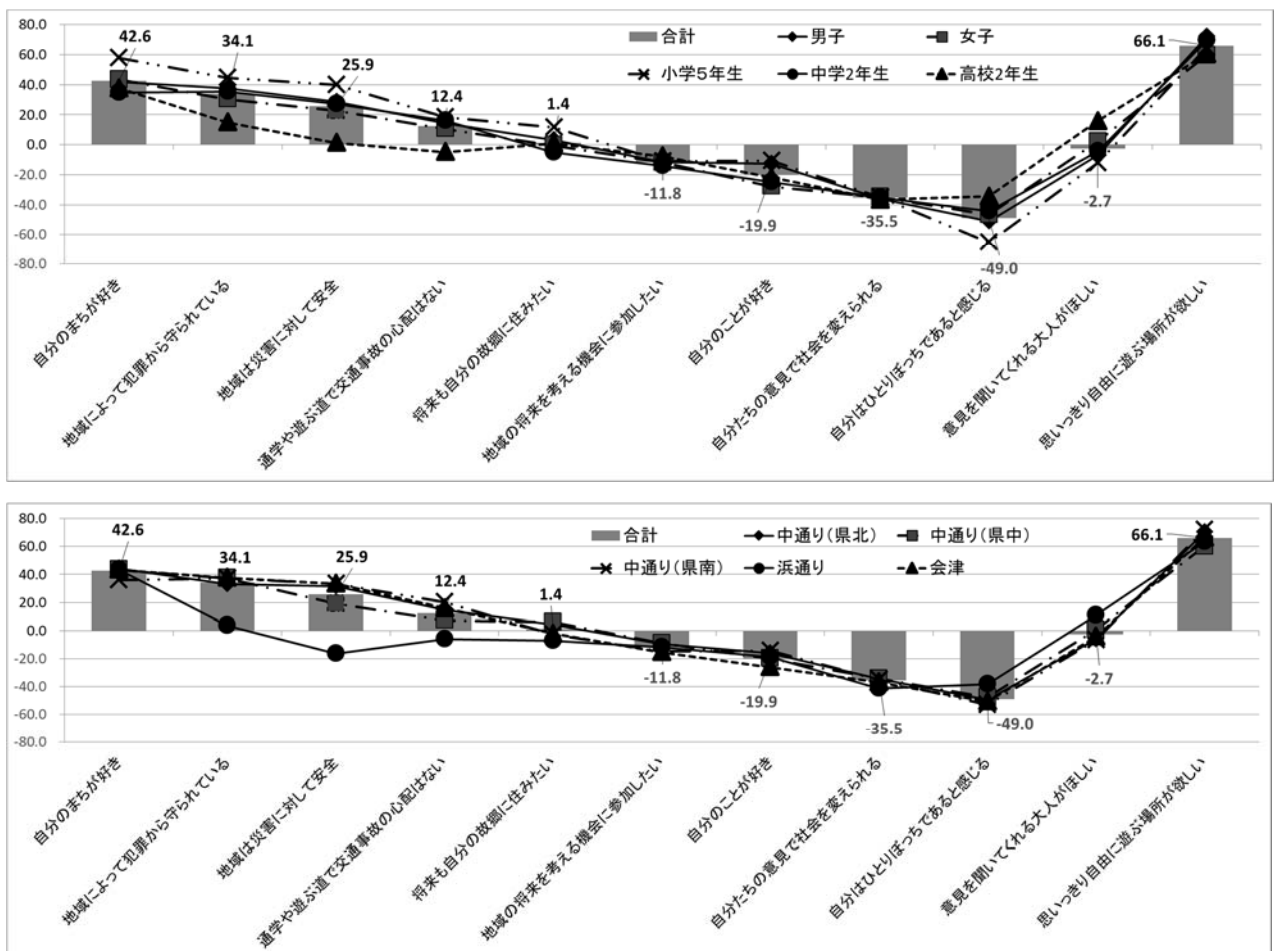
問14 (問24) あなたには、将来の夢や目標はありますか。(どちらかに○を)



【将来への夢や目標を持っている子どもは6割強】問14 (問24)

将来の夢や目標を持っている割合は、合計で64.2%、男子57.8%より女子70.9%の方が多く、小学5年生70.3%が、中学2年生60.5%、高校2年生63.5%より割合が多い。

問15 (問18) 次の設問についてあなたはどのように思いますか。(設問ごとにあてはまるもの1つに○を)



【住んでいる町の防犯・防・交通安全などへの信頼はあるが、子どもたちの参加意欲はあまりない】

【「思いっきり自由に遊ぶ場所」の要望は大きい】問15 (問18)

「そう思う」= (+1) 点、「やや思う」= (+0.5) 点、「あまり思わない」= (-0.5) 点、「思わない」= (-1) 点、として、各項目を±100点満点として評価すると下記のような評得点となる。

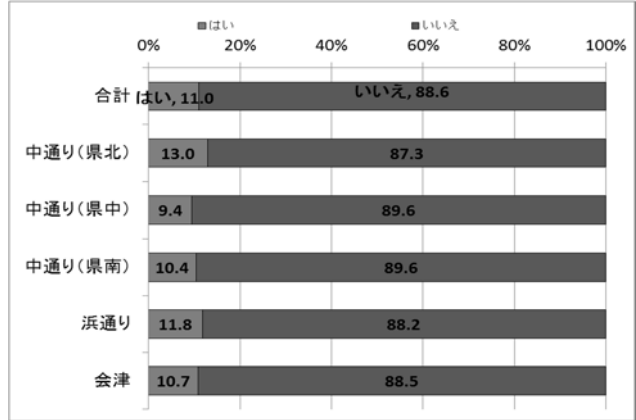
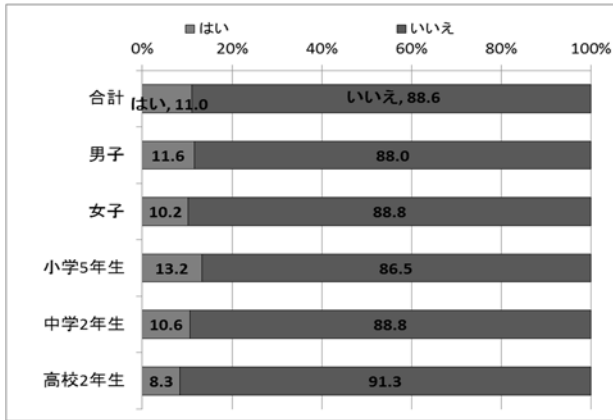
【プラス（肯定的な）意見】

「自分のまちが好き」(+42.6)、「地域によって犯罪から守られている」(+34.1)、「地域は災害に対して安全」(+25.9)、「通学や遊ぶ道で交通事故の心配はない」(+12.4)、「将来も自分の故郷に住みたい」(+1.4)、「地域の将来を考える機会に参加したい」(-11.8)、「自分のことが好き」(-19.9)、「自分たちの意見で社会を変えられる」(-35.5)、

【マイナス（要望）意見】

「思いっきり自由に遊ぶ場所が欲しい」(+66.1)、「意見を聞いてくれる大人がほしい」(-2.7)、「自分はひとりぼっちであると感じる」(-49.0)、

問16（問23） 自分の住んでいる町の将来計画（被災した地域の場合は復興計画など）を見たことがありますか？



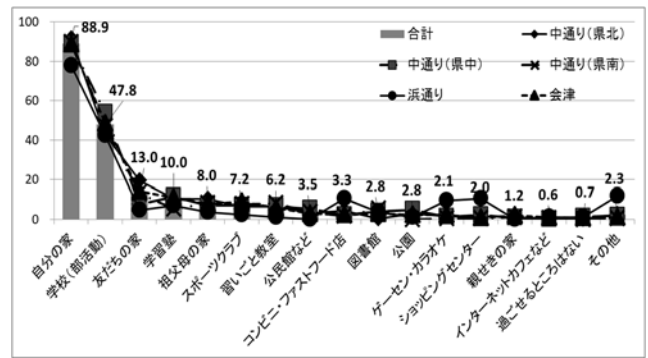
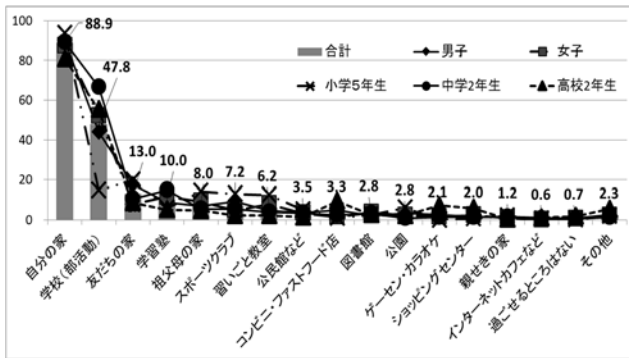
【町の将来計画（被災した地域の場合は復興計画など）を見たことがない子どもがほとんど（9割）】 問16（問23）

自分の住んでいる町の将来計画（被災した地域の場合は復興計画など）を見たことがない人は合計で88.6%。男女差はなく、小学5年生86.5%、中学2年生88.8%、高校2年生91.3%と年齢とともに増加している。男女差、地域差はない。

【あなたがふだん過ごす場所について教えてください。】

問17（問19） 平日の放課後や休日の日中過ごす場所、そしてホッとする場所について、次の問いに教えてください。

① **【平日の放課後】** どこで過ごしていますか。（○は3つまで）



【平日の放課後過ごす場所は、自分の家9割、学校（部活動）5割がほとんど】 問17（問19）

平日の放課後過ごす場所で、特に割合の多いのは、①自分の家88.9%、②学校（部活動）47.8%、次に③友だちの家13.0%、④学習塾10.0%、⑤祖父母の家8.0%、⑥スポーツクラブ7.2%、⑦習いごと教室6.2%など。

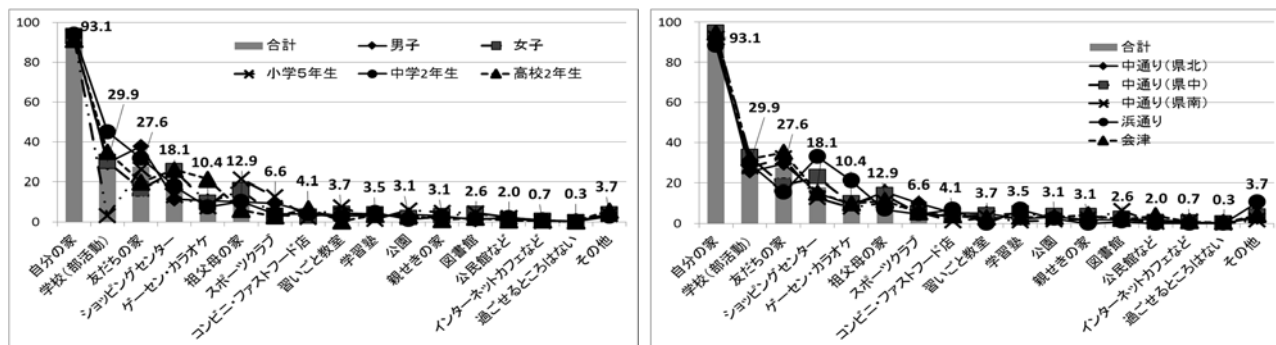
学校(部活動)は、男子43.7%より女子52.1%の方が多く、中学2年生66.4%が最も多く、次は高校2年生55.2%。小学5年生14.6%では少ない。

友だちの家は、男子17.6%が女子7.9%の倍以上の割合で多く、小学5年生19.7%、中学2年生10.4%、次は高校2年生8.7%と年齢とともに減少している。

学習塾は、男子8.6%より女子11.6%の方が多く、中学2年生14.8%が最も多く、次は小学5年生5.8%、高校2年生5.1%。

祖父母の家、スポーツクラブ、習いごと教室は、小学5年生12~14%から、高校2年生2~5%へと年齢とともに減少している。

② 【休日の日中】どこで過ごしていますか。(〇は3つまで)



【休日の日中過ごす場所は、自分の家が9割で、次に学校(部活動)と友だちの家がそれぞれ3割】問17(問19)

休日の日中過ごす場所で、特に割合の多いのは、①自分の家93.1%、次に②学校(部活動)29.9%、③友だちの家27.6%、④ショッピングセンター18.1%、⑤ゲーセン・カラオケ10.4%、⑥祖父母の家12.9%、⑦スポーツクラブ6.6%、⑧コンビニ・ファストフード店4.1%など。

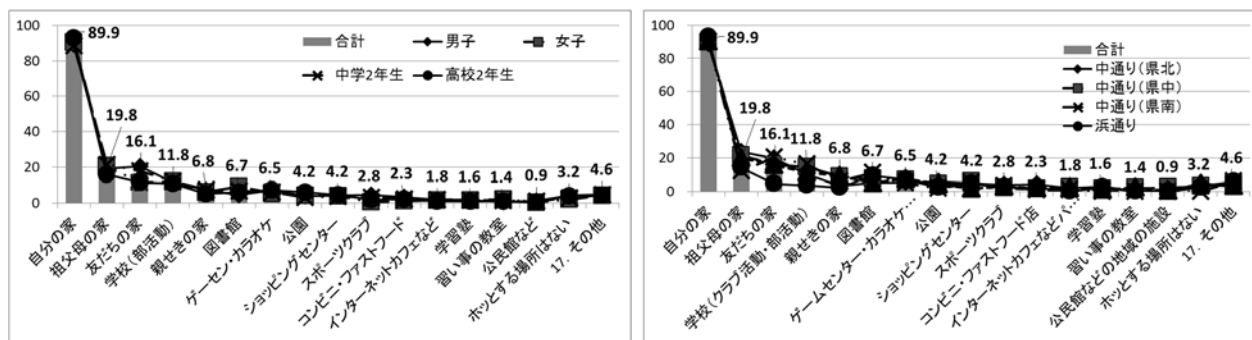
学校(部活動)は、中学2年生45.1%が最も多く、次は高校2年生35.0%。小学5年生3.2%では少ない。友だちの家は、男子37.8%が女子16.2%の倍以上の割合で多く、中学2年生31.8%が最も多く、次は小学5年生26.2%、高校2年生19.9%。

ショッピングセンターは、男子11.5%より女子25.4%が倍以上の割合で多く、小学5年生13.2%、中学2年生18.0%、高校2年生26.0%と年齢とともに増加している。

高校生では、ゲーセン・カラオケ21.3%、コンビニ・ファストフード店6.9%が他の年代より多い。

小学5年生では、祖父母の家21.3%、スポーツクラブ12.8%、習いごと教室7.7%、公園6.0%が他の年代より多い

③ あなたが【ホッとする場所】はどこですか。(〇は3つまで) (中高生だけに質問)

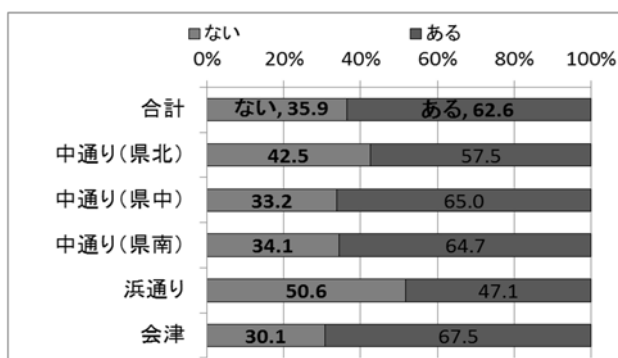
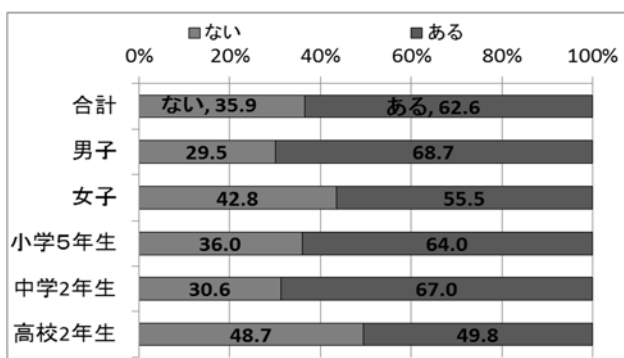


【「ホッとする場所」は、自分の家が9割で圧倒的に多い】問17(中学生・高校生)

「ホッとする場所」は、自分の家89.9%が圧倒的に多く、祖父母の家19.8%、友だちの家16.1%、学校(部活動)11.8%などの順。

祖父母の家は、男子19.2%より女子20.6%が多く、中学2年生21.5%、高校2年生15.9%と年齢とともに減少。友だちの家は、男子20.4%より女子11.2%が少なく、中学2年生18.0%、高校2年生11.6%と年齢とともに増加。

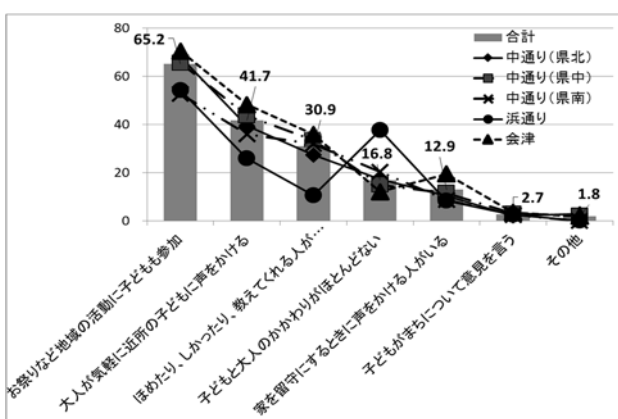
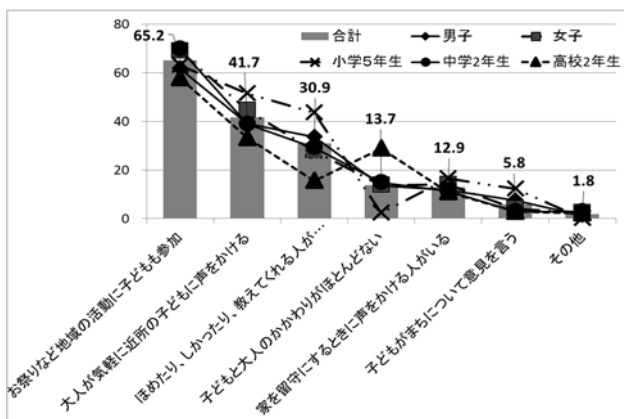
④ 一週間の生活の中で、身体を思いっきり動かす場所がありますか？（どちらかに○を）



【身体を思いっきり動かす場所があると答えた子どもは6割で、高校生では5割に減少】問17（問19）
一週間の生活の中で、身体を思いっきり動かす場所があると回答した人は、合計では62.6%で、男子68.7%が女子55.5%より多い。小学5年生64.0%、中学2年生67.0%と比べて、高校2年生49.8%が少なくなっている。
※注：浜通りは、回答者が高校生のみのため、有意差といえない。

【あなたの地域での生活について教えてください】

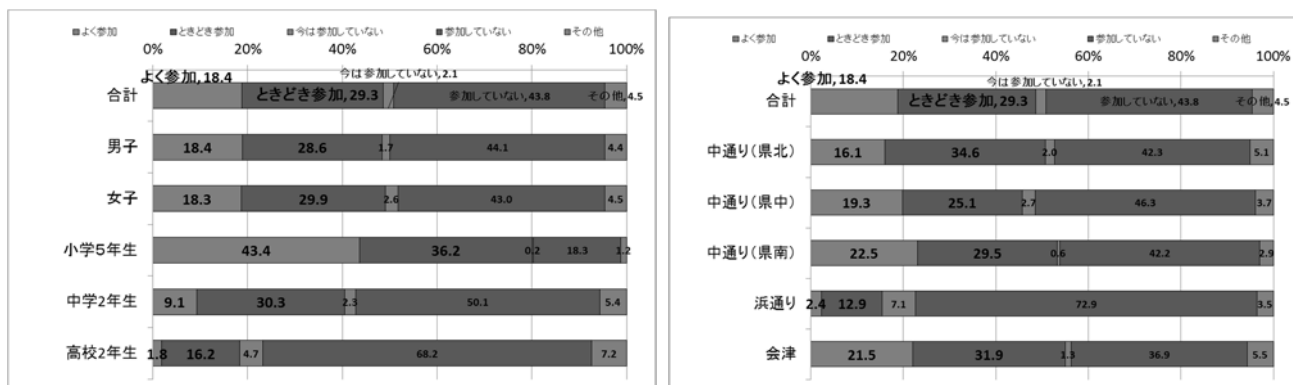
問18（問21） あなたが今、住んでいる地域では、大人のかかわりはどれくらいありますか。
以下の項目で、あてはまると 思う番号のすべてに○をつけてください。



順位	選択肢	合計	男子	女子	小学5年生	中学2年生	高校2年生
1	お祭りなど地域の活動に子どもも参加	65.2	61.5	68.9	62.9	69.7	57.8
2	大人が気軽に近所の子どもの声をかける	41.7	39.0	44.5	51.5	38.9	33.2
3	ほめたり、しかったり、教えてくれる人がいる	30.9	33.6	27.7	43.6	29.0	15.5
4	子どもと大人のかかわりがほとんどない	13.7	13.6	13.7	2.3	14.7	28.9
5	家を留守にするときに声をかける人がいる	12.9	11.6	14.0	16.5	11.3	10.8
6	子どもがまちについて意見を言う	5.8	7.5	4.0	12.3	2.9	2.9
7	その他	1.8	1.2	2.5	0.0	2.9	2.2

【地域での大人とのかかわりは、「お祭りなど」65.2%、「子どもに声をかける」41.7%、「ほめたり、しかったり、教えてくれる」30.9%。「子どもがまちについて意見を言う」5.8%は少ない】問18（問21）
住んでいる地域での大人のかかわりでは、多い順に「お祭りなど地域の活動に子どもも参加」65.2%、「大人が気軽に近所の子どもの声をかける」41.7%、「ほめたり、しかったり、教えてくれる人がいる」30.9%、「子どもと大人のかかわりがほとんどない」13.7%、「家を留守にするときに声をかける人がいる」12.9%、「子どもがまちについて意見を言う」5.8%。

問19 (問22) 地域の子ども会の活動に参加していますか？



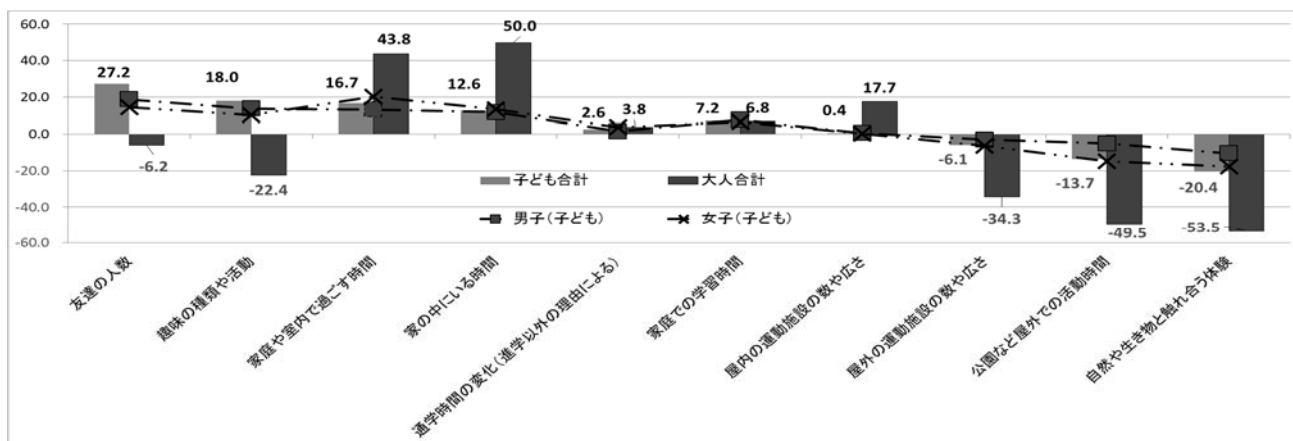
【地域の子ども会の活動への参加は約5割で、小学生8割から高校生2割へ年齢とともに減少】問19 (問22) 地域の子ども会の活動に参加の割合は、「よく参加」18.4%、「ときどき参加」29.3%、「以前に参加していたが今は参加していない」2.1%、これらの合計49.8%でおおよそ半分の割合。年代別では、小学5年生79.8%、中学2年生41.6%、高校2年生22.7%と年齢とともに減少している。

「参加していない」が43.8%。

問20 (問25) 震災などの影響によって、ふだんの生活で変化したと思うことに○をつけてください

右の3段階のうちあてはまる番号を選んで○をつけてください。

震災などの影響によってふだんの生活で変化したと思うこと



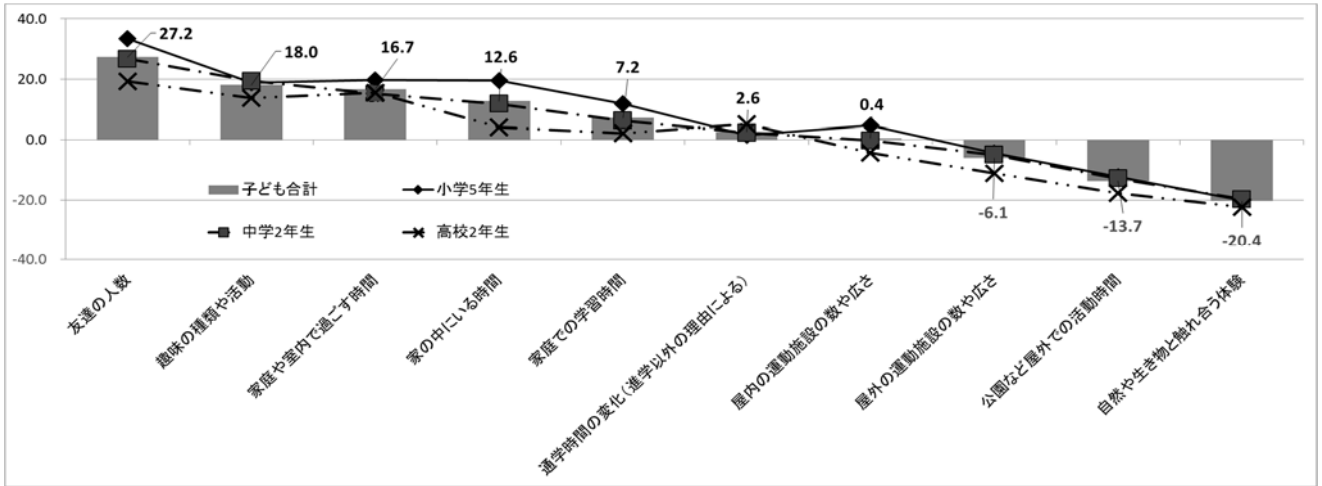
【震災の影響で増えたのは、子どもの回答では、1「友人の人数」、2「趣味の種類や活動」、3「家庭や室内で過ごす時間」、4「家の中にいる時間」】問20 (問25)

【震災の影響で減ったのは、子どもの回答では、1「自然や生き物と触れ合う体験」、2「公園など屋外での活動時間」、3「屋外の運動施設の数や広さ」】問20 (問25)

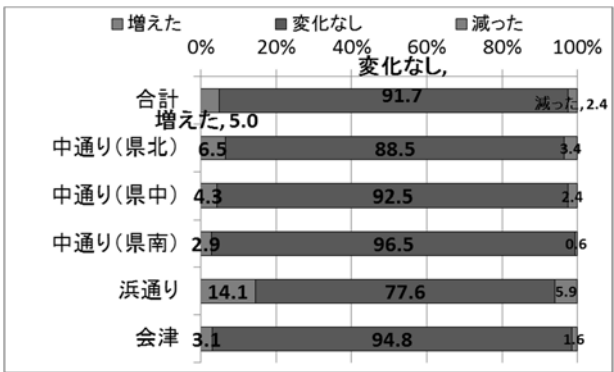
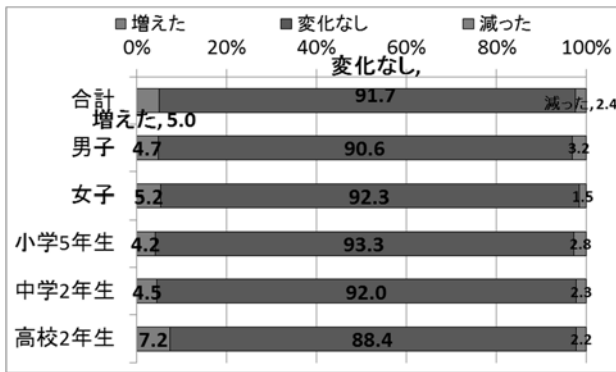
「増えた」= (+1) 点、「変化なし」= (0) 点、「減った」= (-1) 点、として、各項目を±100点満点として評価すると下記のような評得点となる。

子どもの回答をプラスの順(増えた順)にみると、1「友人の人数」(子ども27.2) (大人-6.2)、2「趣味の種類や活動」(18.0) (-22.4)、3「家庭や室内で過ごす時間」(16.7) (43.8)、4「家の中にいる時間」(12.6) (50.0)、5「通学時間の変化(進学以外の理由による)」(2.6) (3.8)、6「家庭での学習時間」(7.2) (6.8)、7「屋内の運動施設の数や広さ」(0.4) (17.7)、8「屋外の運動施設の数や広さ」(-6.1) (-34.3)、9「公園など屋外での活動時間」(-13.7) (-49.5)、10「自然や生き物と触れ合う体験」(-20.4) (-53.5)。

【大人と子どもでの回答の違いをみると、子どもの回答では、「友人の人数」、「趣味の種類や活動」が増えたとする意見が多いが、大人では減ったとする意見が多い。また、「自然や生き物と触れ合う体験」、「公園など屋外での活動時間」、「屋外の運動施設の数や広さ」などは大人のほうが子ども以上に減ったとする割合が多く、「家庭や室内で過ごす時間」4「家の中にいる時間」では子ども以上に増えたとする意見が多く、全般に子どもの生活へのマイナスの影響を大きく指摘している】問20 (問25)、(大人問39)

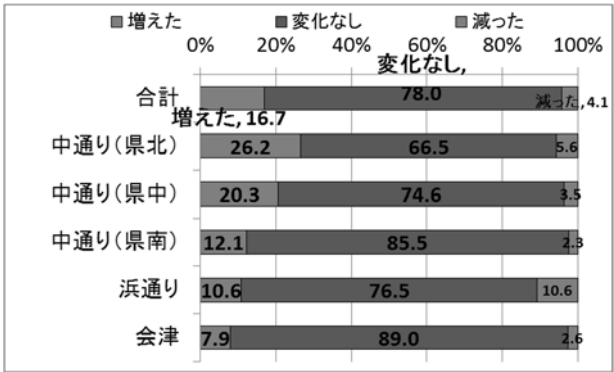
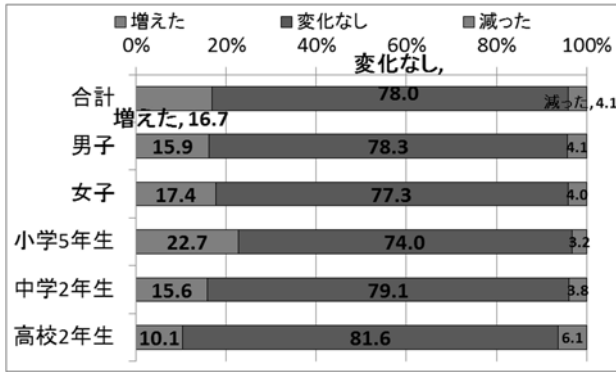


a. 通学時間の変化（進学以外の理由による）



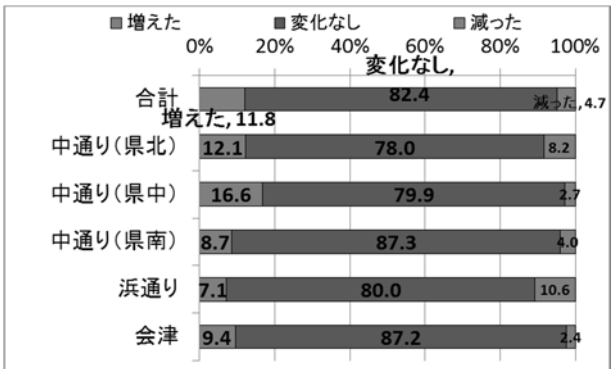
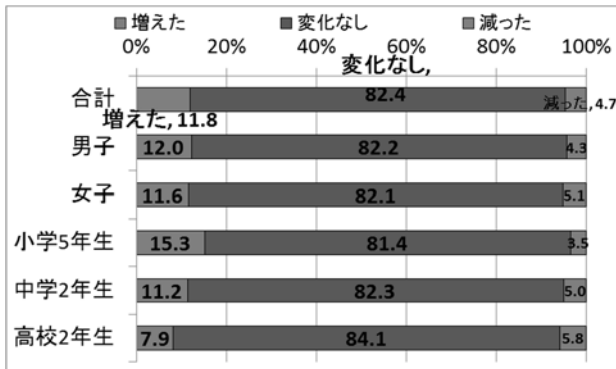
増えた 5.0%、変化なし 91.7%、減った 2.4%。

b. 家の中にいる時間



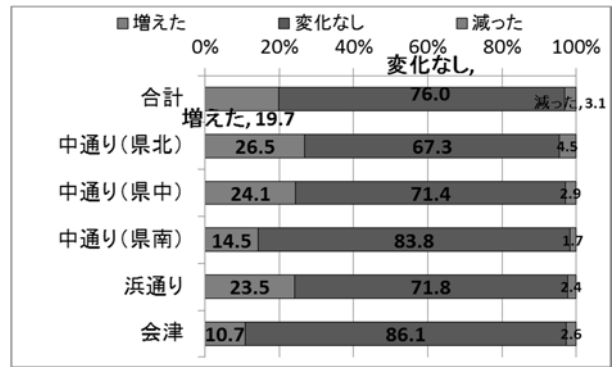
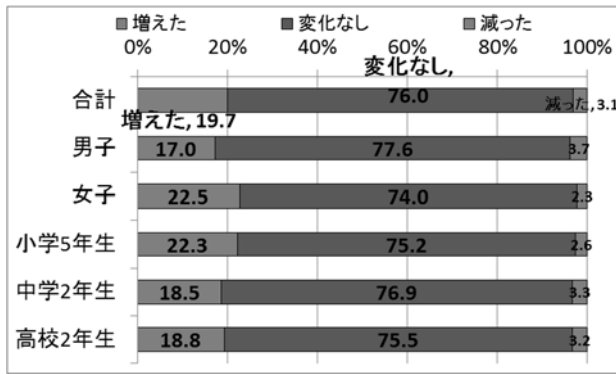
増えた 16.7%、変化なし 78.0%、減った 4.1%。

c. 家庭での学習時間



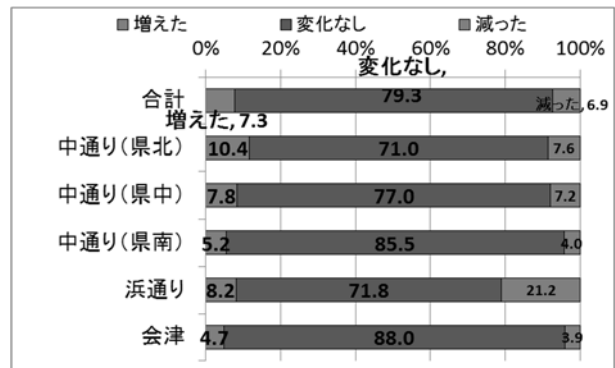
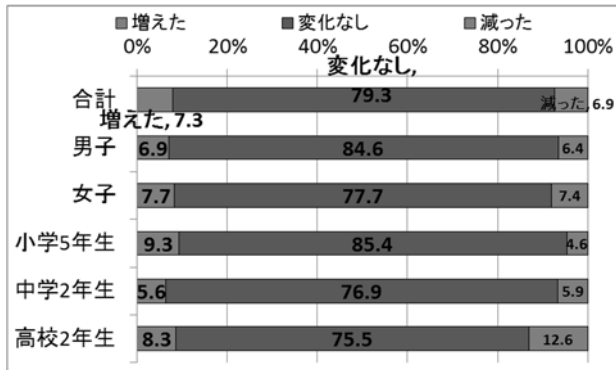
増えた 11.8%、変化なし 82.4%、減った 4.7%。

d. 家庭や室内で過ごす時間



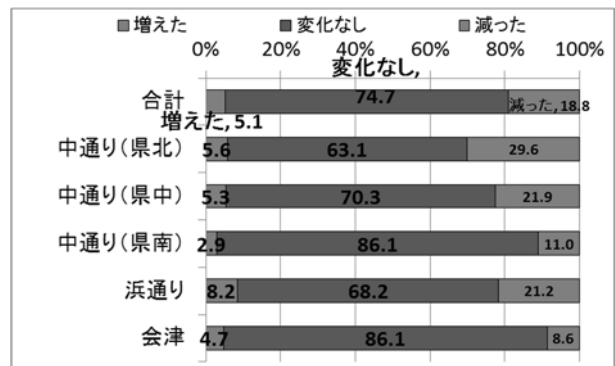
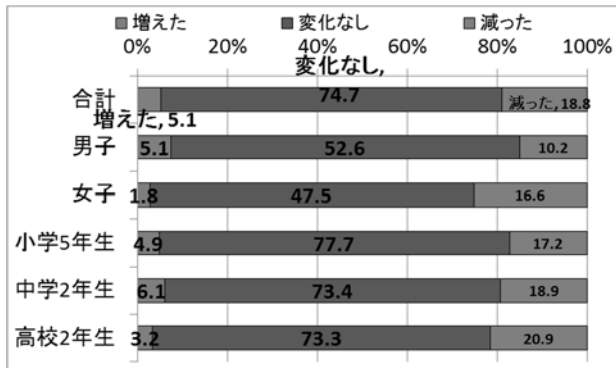
増えた 19.7%、変化なし 76.0%、減った 3.1%。

e. 屋内の運動施設の数や広さ



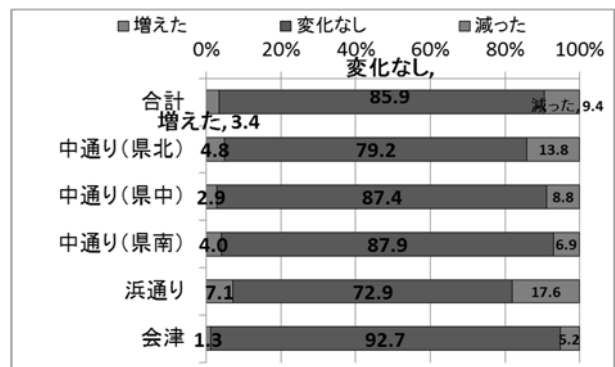
増えた 7.3%、変化なし 79.3%、減った 6.9%。

f. 公園など屋外での活動時間



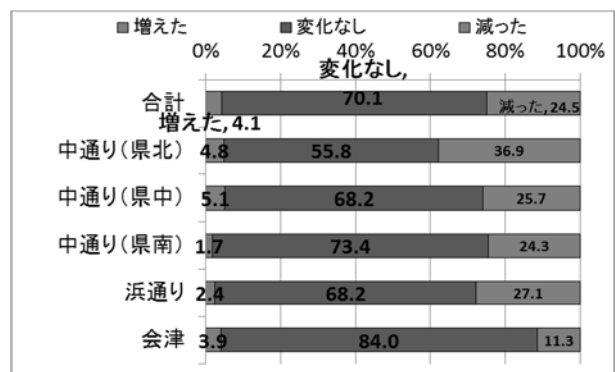
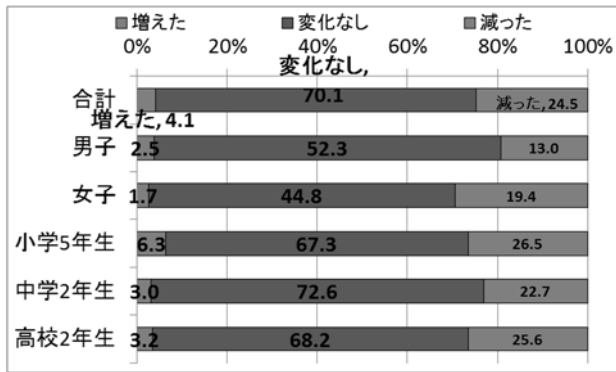
増えた 5.13.4%、変化なし 74.7%、減った 18.8%。

g. 屋外の運動施設の数や広さ



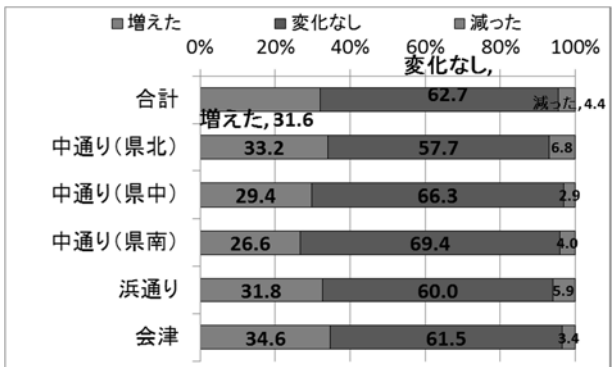
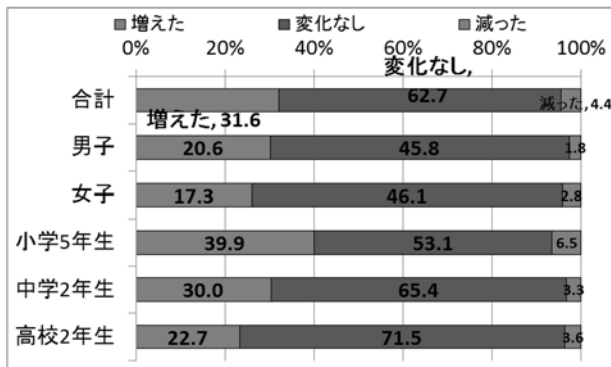
増えた 3.4%、変化なし 85.9%、減った 9.4%。

h. 自然や生き物と触れ合う体験



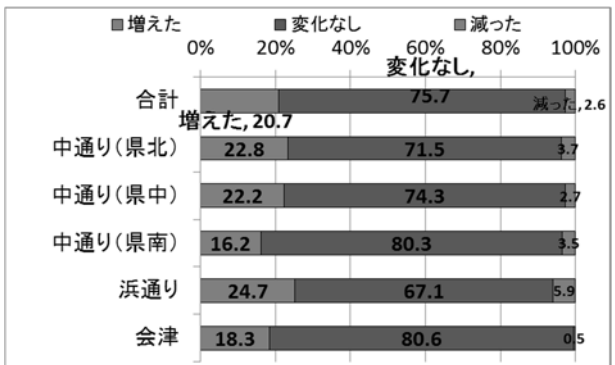
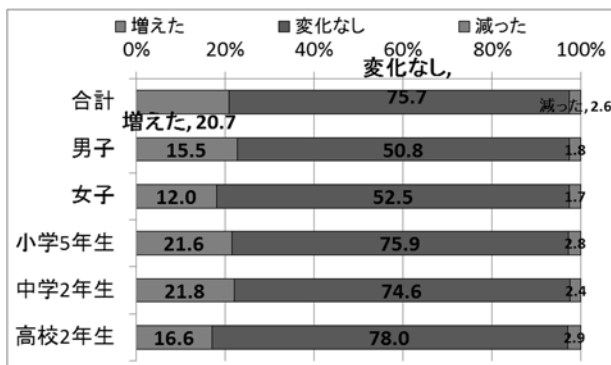
増えた4.1%、変化なし70.1%、減った24.5%。

i. 友達の数



増えた31.6%、変化なし62.7%、減った4.4%。

j. 趣味の種類や活動



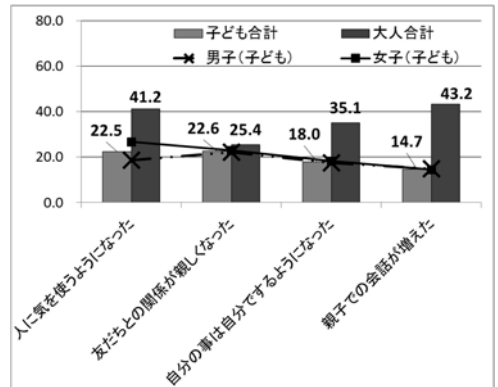
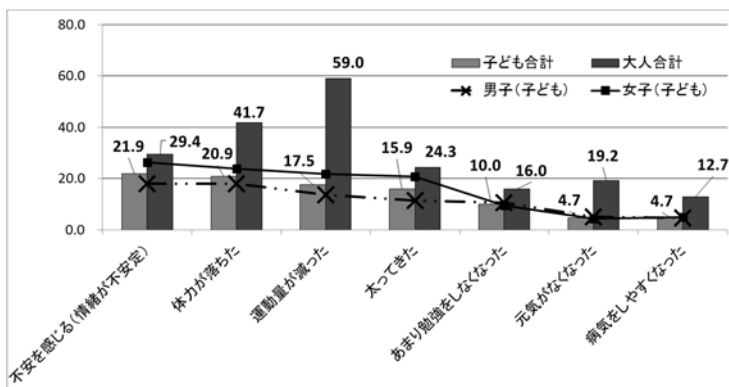
増えた20.7%、変化なし75.7%、減った2.6%。

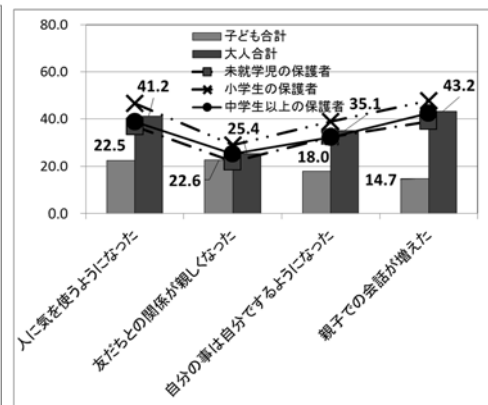
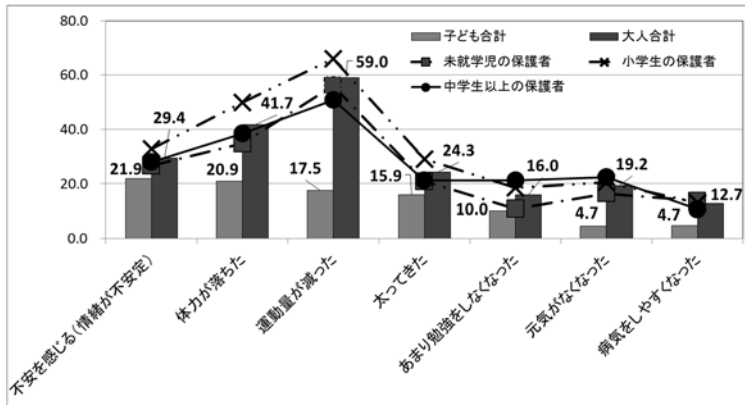
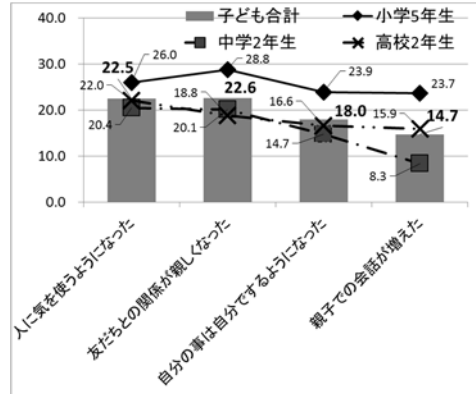
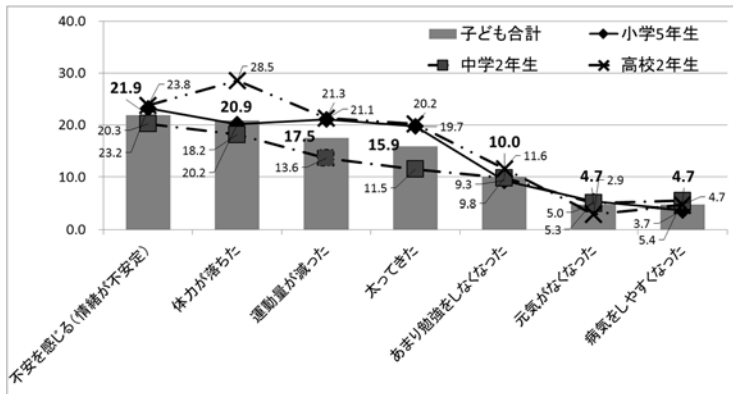
問21 (問26) 震災などの影響によって、自分自身が変わったと思うことはありましたか。

右の1～3のあてはまる番号を選んで、○をつけてください。

震災などの影響によって変わったと思うこと

「そう思う」= (+1) 点として、各項目を+100点満点として評価すると下記のような得点となる。





【震災による子どもへのマイナス影響は、子どもの回答では1「不安を感じるが多くなった」、2「体力が落ちた」、3「運動量が減った」、4「太ってきた」、大人の回答では1「運動量が減った」、2「体力が落ちた」、3「不安を感じる(情緒が不安定)」、4「太ってきた】問21(問26)大人問40

【震災による子どもへのプラス影響は、子どもの回答では1「人に気を使うようになった」、2「友だちとの関係が親しくなった」、大人の回答では1「親子での会話が増えた」、2「人に気を使うようになった】問21(問26)大人問40

【マイナスの変化】

子どもの回答で「そう思う」割合の多い順は、1「不安を感じるが多くなった」(21.9)、2「体力が落ちた」(20.9)、3「運動量が減った」(17.5)、4「太ってきた」(15.9)、5「あまり勉強をしなくなった」(10.0)、6「元気がなくなった」(4.7)、7「病気をしやすくなった」(4.7)。

男子と比べて女子の方が「不安を感じるが多くなった」(男子18.0、女子26.2)、「体力が落ちた」(男子18.0、女子23.9)、「運動量が減った」(男子13.6、女子21.7)、「太ってきた」(男子11.3、女子20.8)と思う割合は多い。

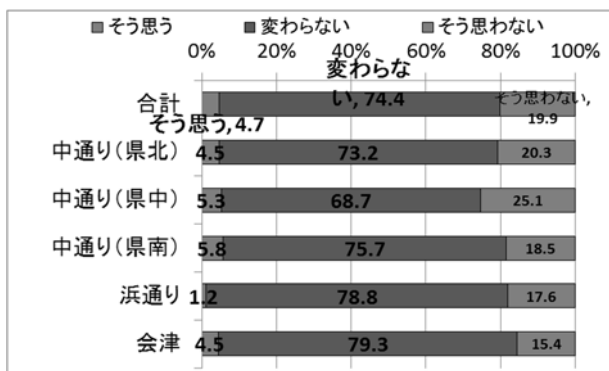
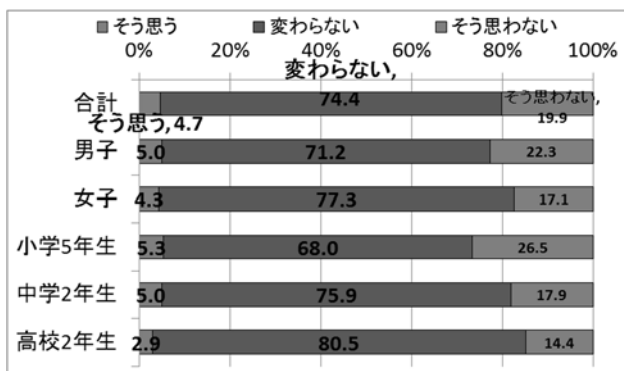
子どもと比べると大人のほうが変化を感じている項目も異なり、「そう思う」割合も格段に多い。大人の回答で「そう思う」割合の多い順にみると1「運動量が減った」(大人59.0、子ども17.5)、2「体力が落ちた」、(大人41.7、子ども20.9)の2項目の割合が非常に高く、続いて3「不安を感じる(情緒が不安定)」(29.4大人、子ども21.9)、4「太ってきた」(大人24.3、子ども15.9)、5「元気がなくなった」(大人19.2、子ども4.7)、6「病気をしやすくなった」(大人12.7、子ども4.7)、7「あまり勉強をしなくなった」(大人16.0、子ども10.0)の順となる。

【プラスの変化】

子どもの回答で「そう思う」割合の多い順は、1「人に気を使うようになった」(子ども22.5、大人41.2)、2「友だちとの関係が親しくなった」(子ども22.6、大人25.4)、3「自分の事は自分でできるようになった」(子ども18.0、大人35.1)、4「親子での会話が増えた」(子ども14.7、大人43.2)。

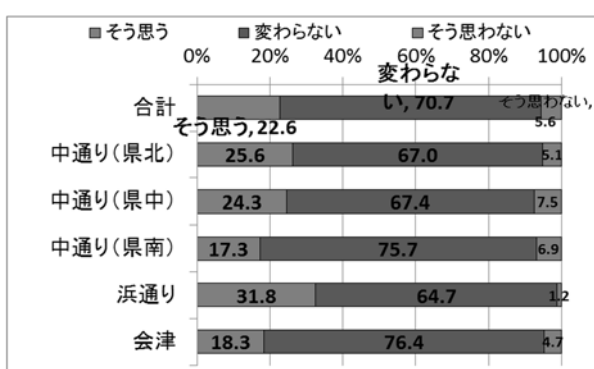
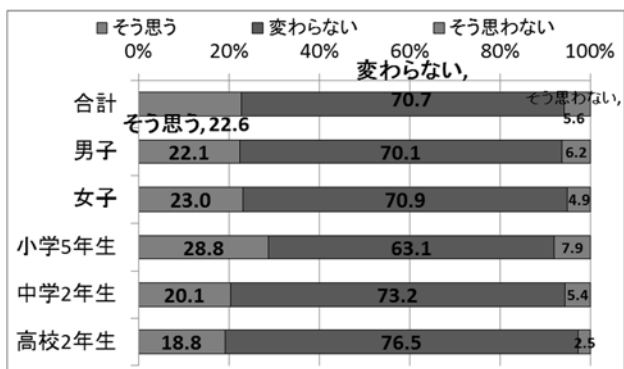
プラスの変化でも子どもと比べると大人のほうが変化を感じている項目も異なり、「そう思う」割合も格段に多い。

a. 元気がなくなった



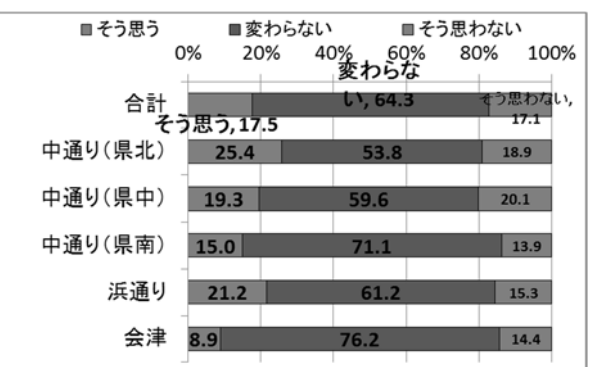
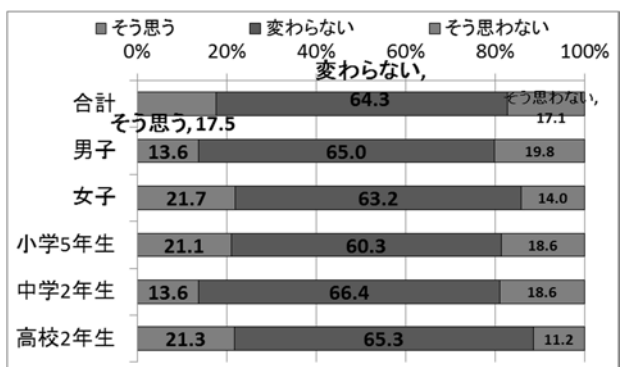
そう思う 4.7%、変わらない 74.4%、そう思わない 19.9%。

b. 友だちとの関係が親しくなった



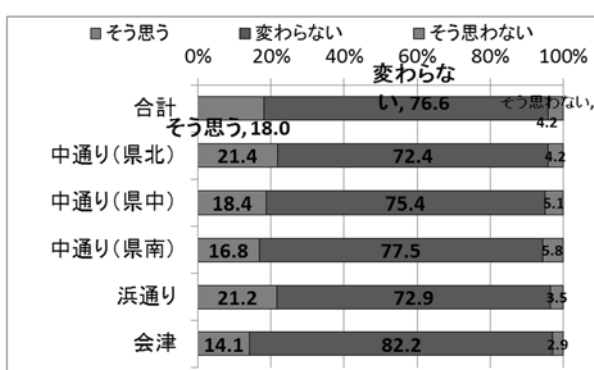
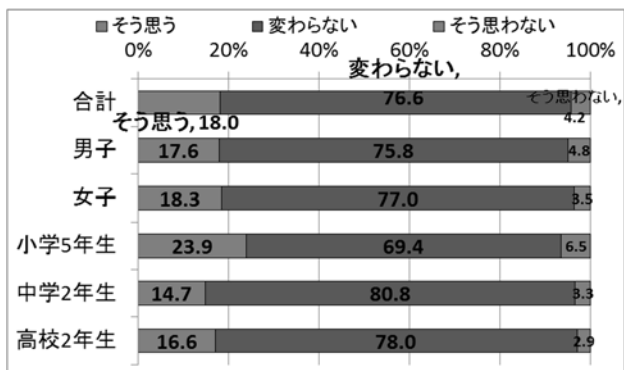
そう思う 22.6%、変わらない 70.7%、そう思わない 5.6%。

c. 運動量が減った



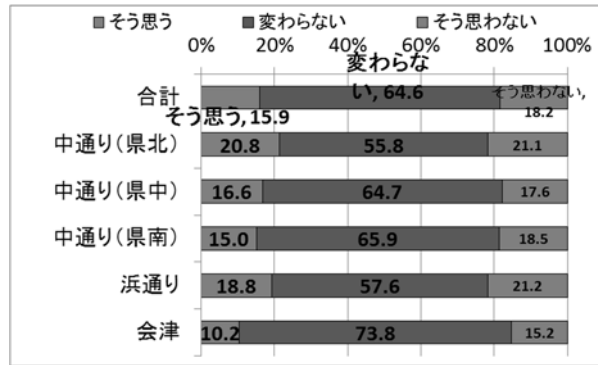
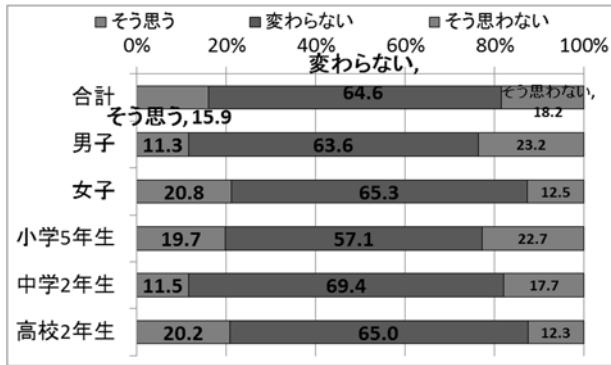
そう思う 17.5%、変わらない 64.3%、そう思わない 17.1%。

d. 自分のことは自分でできるようになった



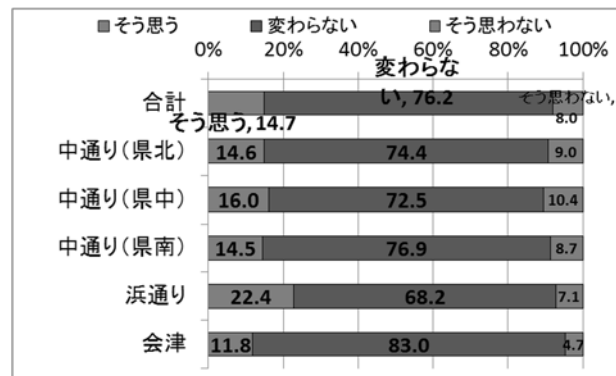
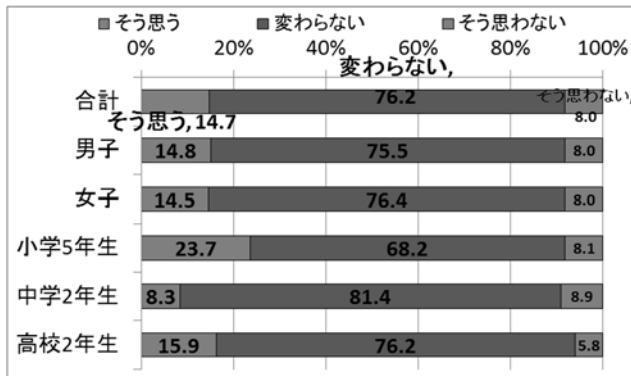
そう思う 18.0%、変わらない 76.6%、そう思わない 4.2%。

e. 太ってきた



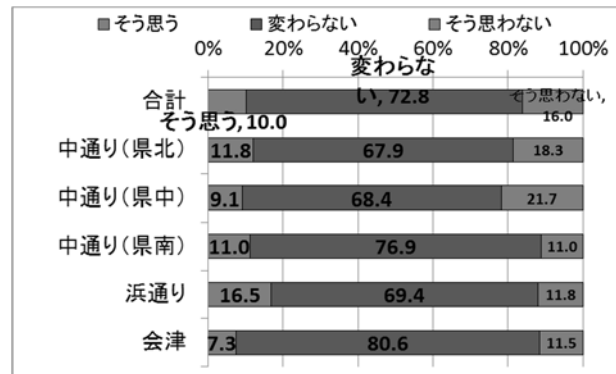
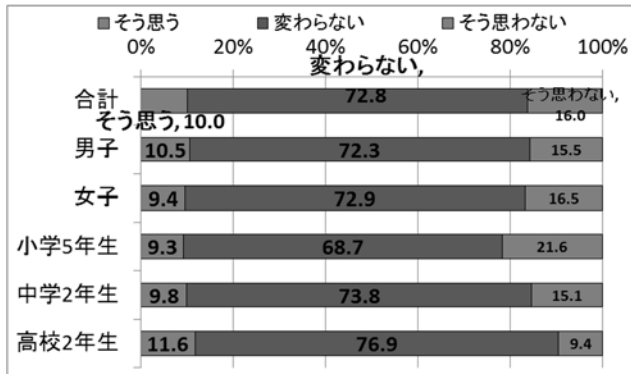
そう思う 15.9%、変わらない 64.6%、そう思わない 18.2%。

f. 親子での会話が増えた



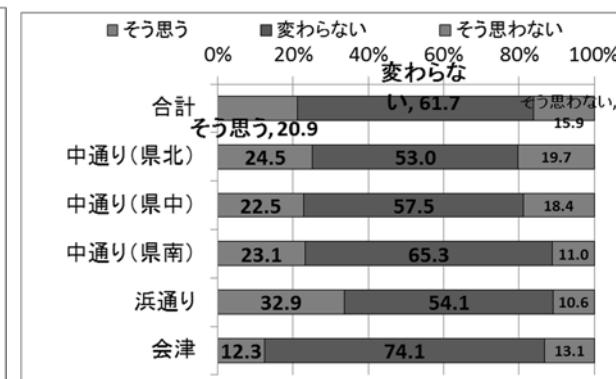
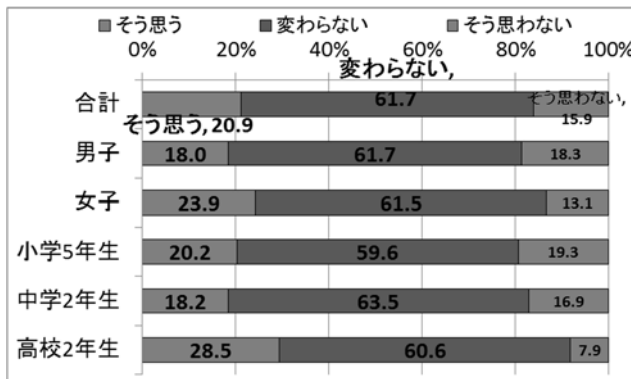
そう思う 14.7%、変わらない 76.2%、そう思わない 8.0%。

g. あまり勉強をしなくなった



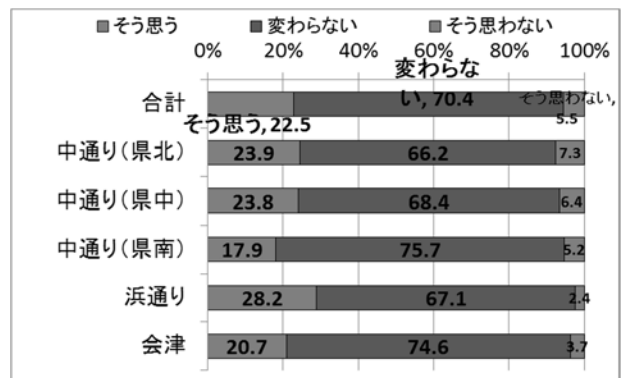
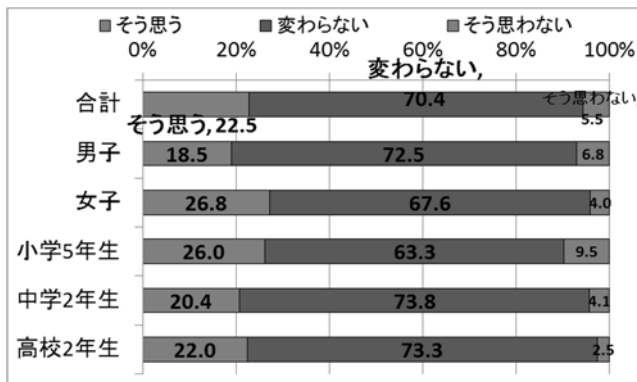
そう思う 10.0%、変わらない 72.8%、そう思わない 16.0%。

h. 体力が落ちた



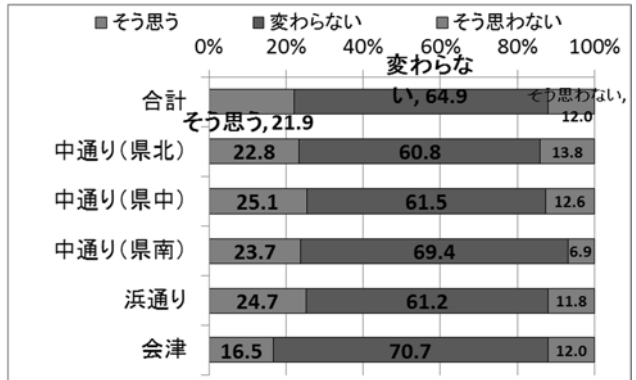
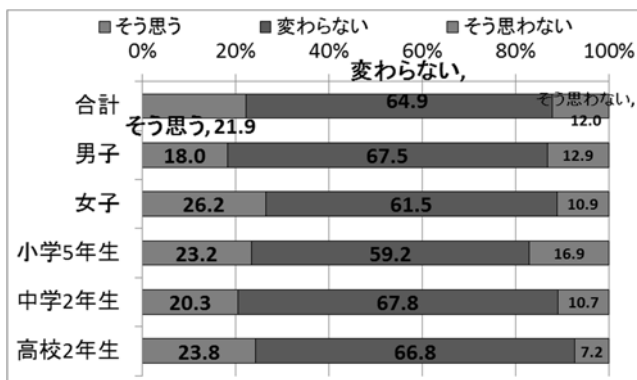
そう思う 20.9%、変わらない 61.7%、そう思わない 15.9%。

i. 人に気を使うようになった



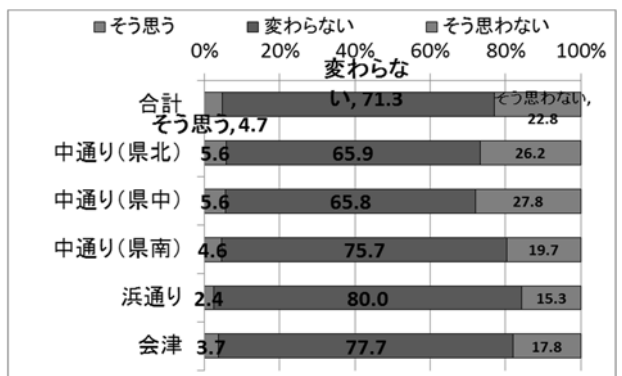
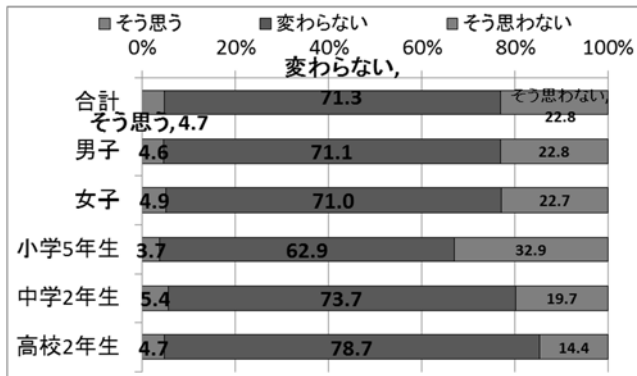
そう思う 22.5%、変わらない 70.4%、そう思わない 5.5%。

j. 不安を感じることが多くなった



そう思う 21.9%、変わらない 64.9%、そう思わない 12.0%。

k. 病気をしやすくなった



そう思う 4.7%、変わらない 71.3%、そう思わない 22.8%。

3-3 調査結果のまとめ

【震災復興・震災による影響】

【震災の影響で増えたのは、子どもの回答では、1「友人の人数」、2「趣味の種類や活動」、3「家庭や室内で過ごす時間」、4「家の中にいる時間】問20（問25）

【震災の影響で減ったのは、子どもの回答では、1「自然や生き物と触れ合う体験」、2「公園など屋外での活動時間」、3「屋外の運動施設の数や広さ】問20（問25）

【震災による子どもへのマイナス影響は、子どもの回答では1「不安を感じるが多くなった」、2「体力が落ちた」、3「運動量が減った」、4「太ってきた】問21（問26）大人問40

【震災による子どもへのプラス影響は、子どもの回答では1「人に気を使うようになった」、2「友だちとの関係が親しくなった】問21（問26）

【生活・時間】

【遊び】

【小学5年生の平日の外遊び時間は、一日「1時間以上」23.1%、「30分～1時間」27.7%、「15～30分」17.0%、15分以下8.2%。「ほとんど外で遊ばない」が24.0%と多い。】（問5）（小学5年生）

【小学5年生の休日の外遊び時間は、一日「1時間以上」33.9%、「30分～1時間」23.7%、「15～30分」11.5%、15分以下8.8%。「ほとんど外で遊ばない」が22.1%と多い。】（問6）（小学5年生）

【普段の遊びは、「コンピュータゲーム」78.2%、「ボール遊び」47.1%、「オニごっこ、かくれんぼなど」36.9%、「かけっこ、なわとびなど運動遊び」28.3%など。】（問7）（小学5年生）

【外遊び、砂遊び、自然遊びなどが震災（地震、津波、原発事故など）をきっかけにできなくなった】（問8）（小学5年生）

【テレビ・メディア】

【テレビやビデオ・DVDの視聴時間は、2時間以上34.1%、1～2時間40.1%、30分～1時間17.3%、30分以下7.4%】問5（問9）

【一日の電子機器（携帯電話、ゲーム器、パソコン等）を使う時間は、「2時間以上」26.1%、「1～2時間」35.3%、「30分～1時間」22.8%、「30分以下」16.1%。】問6（問10）

【友達との連絡手段は、小学生では「学校で」83.8%、「電話で」50.1%、「メール」1割以下、中高生では「学校で」69.5%、「スマホのLINE」54.1%、「メール」30.2%など】問7（問11）

【部活、塾、習いごと】

【部活、塾、習いごとをしている人は74.1%。学年別では、中学2年生84.3%が最も多く、小学5年生72.4%、高校2年生52.7%の順】問8（問13）

【学校の部活3.0日/週、学習塾0.6日/週、習い事0.8日/週。3つの合計は4.4日/週（小学5年生2.7日/週、中学2年生6.0日/週、高校2年生2.8日/週）】問8（問13）

【家族団らん・食事・睡眠】

【一日の親子の会話は、2時間以上14.7%、1～2時間30.6%、30分～1時間24.5%、30分未満29.9%。】問9（問14）

【親（保護者）といっしょに食べない（「あまり一緒に食べない」+「いつも一人で食べる」）子どもは、朝食42.2%、夕食12.7%】問10（問15）

【食生活の問題点では「好ききらいが多い」27.1%、「お菓子など間食が多い」25.1%、「朝食をとらないことがある」15.4%、「どれにも当てはまらない（問題ない）」は43.2%】問11（問16）

【「規則正しく朝は起きている」は5割、「規則正しく夜は寝ている」は2.5割、「TV、ゲーム、携帯電話、パソコンなどのために寝るのが遅くなることが多い」は4割】問12（問17）

【子ども環境】

【「遊ぶのにいちばんほしいもの」の順位は、遊ぶ時間 29.9%、遊びともだち 23.0%、ゲーム機やソフト 17.4%、遊べる場所 14.2%、携帯電話 8.6%】問 1 2（小学 5 年生）

【地域で重要なものは、①「屋内遊び場・屋内運動施設」56.2%、②「屋外の公園や運動場」52.5%、③「安全な通学路や家の周り」34.1%、④「自然に触れられる場所」32.4%、⑤「長期滞在体験プログラム」28.0%、⑥「放課後に立ち寄れる図書館」24.3%など】問 1 3（問 2 0）

【「思いっきり自由に遊ぶ場所」の要望は大きい】問 1 5（問 1 8）

【身体を思いっきり動かす場所があると答えた子どもは 6 割で、高校生では 5 割に減少】問 1 7（問 1 9）

【平日の放課後過ごす場所は、自分の家 9 割、学校（部活動）5 割がほとんど】問 1 7（問 1 9）

【休日の日中過ごす場所は、自分の家が 9 割で、次に学校（部活動）と友だちの家がそれぞれ 3 割】問 1 7（問 1 9）

【「ホッとする場所」は、自分の家が 9 割で圧倒的に多い】問 1 7（中学生・高校生）

【子どもの参画】

【将来への夢や目標を持っている子どもは 6 割強】問 1 4（問 2 4）

【住んでいる町の防犯・防・交通安全などへの信頼はあるが、子どもたちの参加意欲はあまりない】

【町の将来計画（被災した地域の場合は復興計画など）を見たことがない子どもがほとんど（9 割）】問 1 6（問 2 3）

【地域での大人とのかかわりは、「お祭りなど」65.2%、「子どもに声をかける」41.7%、「ほめたり、しかったり、教えてくれる」30.9%。「子どもがまちについて意見を言う」5.8%は少ない】問 1 8（問 2 1）

【地域の子ども会の活動への参加は約 5 割で、小学生 8 割から高校生 2 割へ年齢とともに減少】問 1 9（問 2 2）

3-4 子どもアンケートと県民（大人）アンケートを比較して

【震災復興】

【大人と子どもでの回答の違いをみると、子どもの回答では、「友人の人数」、「趣味の種類や活動」が増えたとする意見が多いが、大人では減ったとする意見が多い。また、「自然や生き物と触れ合う体験」、「公園など屋外での活動時間」、「屋外の運動施設の数や広さ」などは大人のほうが子ども以上に減ったとする割合が多く、「家庭や室内で過ごす時間」4「家の中にいる時間」では子ども以上に増えたとする意見が多く、全般に子どもの生活へのマイナスの影響を大きく指摘している】問20（問25）、（大人問39）

【震災による子どもへのマイナス影響は、子どもの回答では1「不安を感じるが多くなった」、2「体力が落ちた」、3「運動量が減った」、4「太ってきた」、大人の回答では1「運動量が減った」、2「体力が落ちた」、3「不安を感じる（情緒が不安定）」、4「太ってきた】問21（問26）大人問40

【震災による子どもへのプラス影響は、子どもの回答では1「人に気を使うようになった」、2「友だちとの関係が親しくなった」、大人の回答では1「親子での会話が増えた」、2「人に気を使うようになった】問21（問26）大人問40

【生活・時間】

【食生活の問題点では、子どもと大人（保護者）の回答を比較してみても大きな食い違いはなく、「好ききらいが多い」3割程度、「お菓子など間食が多い」2.5割程度、「朝食をとらないことがある」1.5割程度、「どれにも当てはまらない（問題ない）」は4.5割程度】問11（問16）（大人問25）

【子どもの回答では「規則正しく朝は起きている」5割、「規則正しく夜は寝ている」2.5割だが、大人では2割程度多く、「TV、ゲーム、携帯電話、パソコンなどのために寝るのが遅くなることが多い」4割は2割程度少なく、親のほうが子どもが思うより規則正しく睡眠をとっていると考えている】問12（問17）（大人問27）

【子ども環境】

【子どもと大人の回答を比較すると「屋内遊び場」が子ども（56.2%）では第1位だが、大人（32.3%）では第5位と順位が低い。「屋外の公園や運動場（遊び場）」は大人（57.2%）では第1位だが、子どもでは第2位（52.5%）で、大人のほうが屋外遊びを重要と考えている】問13（問20）（大人問17）

【子どもの参画】

【将来への夢や目標を持っている子どもは6割強（問14、問24）で、地域の子どもの会に参加している子どもは約5割いるが、小学生8割から高校生2割へ年齢とともに減少（問19、問22）しており、「地域の将来を考える機会に参加したい」、「自分たちの意見で社会を変えられる」（問15、問18）、「子どもがまちについて意見を言う」（問18問21）という意見は少ない】

【4割の大人は「子どもの意見表明を積極的にすべき」回答（大人問14）しているが、「子育てしやすい福島県づくり条例」や「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」をほとんどの県民が知らない。（大人問15、大人問16）】